

【資料6】

大阪府市のプロジェクト一覧

(P1～P18 2016年度事業 期末評価)
(P19～P36 2017年度事業 期初確認)



資料6 大阪都市魅力創造戦略2020 プロジェクト一覧

目指すべき都市像	施策の方向性	施策名	重点	No.
1. 世界に誇れる自慢の都市				
	①世界第一級の文化・観光拠点形成・発信			
	(1) 夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成		○	1
	(2) 水と光のまちづくりの推進		○	
	水辺の魅力空間づくり		○	2
	舟運活性化		○	3
	シンボリックイベントの実施		○	4
	水辺のランドマークの創出		○	5
	淀川の魅力推進		○	6
	大阪光のまちづくり2020構想の推進		○	7
	(3) 万博記念公園の魅力創出		○	8
	(4) 百舌鳥・古市古墳群の魅力創出		○	9
	(5) ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信		○	10
	(6) 大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上			
	歴史拠点の創出		○	11
	世界的観光拠点化		○	12
	(7) 中之島地区の魅力向上			
	新しい美術館の整備		○	13
	大阪市中央公会堂100周年を契機とした魅力発信			14
	(8) 御堂筋地区の魅力向上			
	御堂筋の空間再編		○	15
	御堂筋活性化事業			16
	クオリティの高いにぎわい空間や官民協働によるブランドの創出			17
	(9) 天王寺・阿倍野地区の魅力向上			
	天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進		○	18
	天王寺公園・動物園の魅力向上		○	19
	大阪市立美術館の魅力向上			20
	(10) 築港・ベイエリア地区の魅力向上			
	クルーズ客船の母港化		○	21
	大阪港開港150年記念事業			22
	(11) 大阪駅周辺地区の魅力向上		○	23
	(12) なんば駅周辺道路空間再整備		○	24
	②大阪ならではの魅力創出・発信			
	(1) 国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出		○	25
	(2) 大阪・光の饗宴の魅力向上		○	26
	(3) 御堂筋活性化事業			16
	(4) 大阪マラソンの魅力向上		○	27
	(5) スポーツツーリズムの推進		○	28
	③大阪の文化を満喫できる魅力創出・発信			
	(1) 大阪の食の魅力の創出・発信		○	29
	民間との連携による食の魅力発信			30
	(2) 天満・天神橋地域の魅力発信			31
	④魅力的な景観演出			
	(1) 観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業			32
	(2) 恒常的なまちの魅力向上支援事業補助金			33
2. 安全で安心して楽しめる24時間おもてなし都市				
	①観光客受入環境の充実			
	(1) Wi-Fi設置の拡充		○	34
	(2) 公共交通機関等と連携した受入環境の整備		○	35
	(3) 観光公衆トイレの整備促進		○	36
	(4) 宿泊施設における「おもてなし」環境の整備事業		○	37
	(5) 歩行者案内標識整備			38
	(6) 「トラベルサービスセンター大阪」の運営		○	39
	(7) 観光案内所の運営			40
	(8) 観光客への情報提供機能の充実		○	41
	(9) 観光案内板等の整備促進		○	42
	(10) 観光案内板等の掲載情報の更新等			43
	(11) 観光ボランティアの育成		○	44
	(12) 観光ボランティアガイドとの連携			45
	(13) なんば駅周辺道路空間再整備		○	24
	(14) 多言語対応の強化		○	46
	(15) 観光バス乗降場環境整備			47
	②旅行者の安全・安心の確保			
	(1) 外国人旅行者の災害時における安全確保		○	48
	③旅行者ニーズに配慮した多様なサービスの提供			
	(1) 文化、観光、商業施設等の開館・営業時間の延長		○	49
	(2) イベント・公演等の開演時間の繰り下げ		○	50
	(3) 大阪・光の饗宴の魅力向上		○	26
	(4) ランドマークのライトアップの時間延長・創出		○	51
3. 多様な人材が集う観光・MICE都市				
	①MICE誘致の推進			
	MICE誘致の推進		○	52
	夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成		○	1
	②観光マーケティング・リサーチの強化			
	(1) 大阪観光局運営事業（大阪版DMO推進事業）			53
	③観光振興を支える人材等の育成			
	(1) 大阪観光局運営事業（大阪版DMO推進事業）			53
	(2) 観光ボランティアの育成		○	44
	(3) 都市魅力をみんなで支えるネットワークづくり		○	54
4. 多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市				
	①効果的なプロモーションの強化			
	(1) 国内外への戦略的なプロモーションの展開			55
	(2) 各種プロモーションツールを活用した大阪の情報発信の強化			56
	(3) 大阪ミュージアムの推進			57
	(4) 大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）			58
	(5) フィルムカウンスル事業の充実			59
	②周遊性を高める利便性の向上			
	(1) 観光バス駐車場の確保・充実			60
	(2) 魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業			61

資料6 大阪都市魅力創造戦略2020 プロジェクト一覧

目指すべき都市像	施策の方向性	施策名	重点	No.		
5.大阪が誇る文化力を活用した都市	③大阪に滞在したくなる仕掛けづくり	(1) ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信	○	10		
		①上方伝統芸能を活用した魅力発信				
6.あらゆる人々が文化を享受できる都市	①芸術文化を創造し、支える人材の育成・支援の充実	(1) 世界に発信する「大阪文化の祭典」	○	62		
		②都市の魅力向上と新たな文化の創造	(1) アートスポットの魅力創出・発信	○	63	
			(2) 大阪市中央公会堂100周年を契機とした魅力発信		14	
			(3) 新しい美術館の整備	○	13	
			(4) 留学生への大阪文化の魅力発信		64	
			(5) 美術館・博物館の魅力向上		65	
		③文化プログラムの推進	(1) 文化魅力の情報発信	○	66	
			(2) 大阪らしい芸術文化の魅力の創出	○	67	
			(3) アーツカウンシルの機能強化		68	
		7.アジアをリードする国際・プロスポーツ都市	①国際的なスポーツイベントの開催	(1) ラグビーワールドカップ2019の大阪開催	○	71
(2) 国際的なスポーツイベントなどの誘致	○			72		
(3) オリ・パラ等事前キャンプ誘致の推進				73		
(4) ホストタウンへの登録	○			74		
(5) オリ・パラ開催に向けた事業の展開	○			75		
②スポーツ都市大阪の魅力発信	(1) 大阪マラソンの魅力向上	○	27			
	(2) スポーツツーリズムの推進	○	28			
	(3) プロスポーツとの連携事業		77			
	(4) スポーツ情報ネットワークシステム推進事業		78			
③ラグビーワールドカップ、オリ・パラ、関西ワールドマスターズゲームズの開催を契機としたレガシーの形成	(1) オリピック・パラリンピックムーブメント教育の推進	○	79			
	8.健康と生きがいを出し創出するスポーツに親しめる都市	①スポーツを「する」機会、「ささげる」力の拡充	(1) 関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた事業の展開	○	76	
(2) トップアスリート等との連携事業				80		
(3) スポーツボランティア養成及び派遣事業				81		
②スポーツを通じた健康増進	(1) 府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル		82			
	9.世界で活躍できるグローバル人材育成都市	①グローバル人材育成	(1) グローバル人材育成事業		83	
(2) 英語イノベーション事業				84		
(3) 公設民営学校（国際バカロレア等）の設置				85		
②外国人留学生の受入と定着支援		(1) 留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業	○	86		
		(2) 外国人留学生との連携拡大及び起業支援		87		
③企業における高度外国人材の積極的受入・活用		(1) 企業における高度外国人材の積極的受入・活用や留学生の就職支援	○	88		
		10.出会いが新しい価値を生む多様性都市	①国際都市にふさわしい安全安心の取組みの推進	(1) 外国人相談事業の充実		89
				(2) 災害時多言語支援センター設置・運営訓練		90
(3) 府内大学連携型災害時多言語支援人材確保事業				91		
(4) 在住外国人に対する情報発信の充実				92		
②地域のグローバル化	(1) 観光案内板等の整備促進		○	42		
	(2) ホストタウンへの登録	○	74			
	(3) 多文化共生施策の推進		93			
③国際競争力を有するビジネス拠点としての大阪の魅力向上	(1) MICE誘致の推進	○	52			
	(2) グローバルイノベーション創出支援事業		94			
	(3) 大阪トップランナー育成事業		95			
	(4) 水・環境分野における大阪関西企業の海外展開支援		96			
	(5) ビジネスパートナー都市交流事業		97			
	(6) 外国人留学生の起業支援		87			
	(6) 外国企業誘致推進事業		98			
④大都市大阪の活力を統合した都市外交の推進	(1) トップセールスによる戦略的プロモーション		99			
	(2) JICA（国際協力機構）との連携事業		100			

大阪都市魅力創造戦略2020 プロジェクト一覧（2017年度新規事業）

目指すべき都市像	施策の方向性	施策名	重点	No.
1.世界に誇れる自慢の都市	①世界第一級の文化・観光拠点形成・発信	(1) 御堂筋完成80周年記念事業	○	新規
		3.多様な人材が集う観光・MICE都市	③観光振興を支える人材等の育成	(1) 大阪市版TID（Tourism Improvement District）モデル創出事業

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
1	夢洲での I Rを含む 国際観光拠点形成	大阪市、大阪府、 民間事業者	MICE機能や国際的なエンターテインメント機能を備えた統合型リゾート (I R) の誘致など、民間の創意・工夫や意見を取り入れながら、国際観光拠点の形成をめざす。	夢洲での I Rを含む 国際観光拠点形成	夢洲まちづくり構想検討会の開催	夢洲まちづくり構想検討会ワーキングを4回、検討会を2回開催 I R 推進会議第1回を開催	・夢洲まちづくり構想検討会において、2017年2月に「夢洲まちづくり構想 (案) 」のとりまとめを行うなど、着実に取り組んだ。	統合型リゾートの大阪立地 準備事業 (予算：21,365千円、 決算：1,425千円)	新たな観光拠点の形成に 向けた夢洲まちづくり構想 検討調査 (予算： 29,761千円、決算： 24,171千円) 統合型リゾート(IR)関連基 礎調査 (予算：3,462千 円、決算：1,421千円)
2	水と光のまちづくりの 推進 > 水辺の魅力空間づくり	大阪府、大阪市、 経済団体、大阪観光局、民間事業者	・ 舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備 ・ 水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備	「水と光の首都大阪」の実現に向けた取り組みを着実に推進	舟運利用者数：80万人	舟運利用者数：86万人	北浜・中之島東部エリアの賑わい空間づくりについて、測量と設計が完了した。当初の目標をほぼ達成することができた。	水辺にぎわい空間づくり事業 (予算：20,000千円、 決算：19,998千円)	-
3	水と光のまちづくりの 推進 > 舟運活性化	大阪府、大阪市、 経済団体、大阪観光局、民間事業者	舟運の共同運航体制の構築や係留環境の充実などによる旅行者ニーズに対応した観光メニューとしてのクルーズ商品の多様化促進	「水と光の首都大阪」の実現に向けた取組みを着実に推進	舟運利用者数：80万人	舟運利用者数：86万人	水都大阪パートナーズとの協働による水辺拠点でのにぎわいづくりや、舟運活性化に向けたイベントを実施し、水都大阪の魅力と認知度向上に努めた。	パートナーズ事業 (予算：36,500千円、 決算：36,500千円)	水と光のまちづくり推進事業 (予算：36,500千円、 決算：36,500千円)
4	水と光のまちづくりの 推進 > シンボルイベントの実施	大阪府、大阪市、 経済団体、大阪観光局、民間事業者	オリパライヤーに水辺を舞台にしたシンボルイベントを開催し、水都大阪の魅力在国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	水都大阪の魅力を国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	舟運利用者数：80万人	舟運利用者数：86万人	「水都大阪フェス2016」の開催を通じて、効果的なイベントのあり方について、関係者の共通認識を深め、シンボルイベントについてオール大阪での機運醸成を図った。2017年度は水都大阪コンソーシアムの「水都大阪フェス2017」の開催を通じて、効果的なイベントのあり方について、関係者の共通認識を深め、シンボルイベントについてオール大阪での機運醸成を図っていく。	-	-
5	水と光のまちづくりの 推進 > 水辺のランドマークの創出	大阪府、大阪市、 経済団体、大阪観光局、民間事業者	水の回廊ならではのランドマークやコンテンツを創出し、回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	水の回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	舟運利用者数：80万人	舟運利用者数：86万人	水都事業 (舟運活性化、イベント開催など) の実施を通じて、水の回廊ならではのランドマークやコンテンツ創出について、関係者の共通認識を深めた。次年度以降も引き続き、水都大阪コンソーシアムの事業 (舟運活性化、イベント開催など) の実施を通じて、水の回廊ならではのランドマークやコンテンツ創出について、関係者の共通認識を深めていく。	-	-
6	水と光のまちづくりの 推進 > 淀川の魅力推進	大阪府、市町村、 経済団体、民間事業者	淀川舟運の活性化に向けた沿川地域の魅力づくり	「広域連携型都市構造」への転換に向け、フォーラムで淀川周辺まちづくり団体の相互認識が深まり、舟運実験により具体的な民間主導の事業化への機運が高まった。	社会実験 2回 フォーラムの開催 1回	社会実験 2回 フォーラムの開催 1回	多様な地域資源を最大限に活用し、魅力ある都市空間をつつていくため、2017年1月22日に北大阪まちづくりフォーラムを開催し、2月、3月に枚方宿、守口宿で淀川を活かしたまちづくりに向けた社会実験等を実施した。	ランドデザイン推進事業 (予算：14,045千円、 決算：13,724千円)	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
7	大阪光のまちづくり2020構想の推進	経済団体、民間事業者、大阪府、大阪市	「水と光のまちづくり推進会議」のもと、公民連携による圧倒的な光景観の形成により一層の魅力と賑わいに満ちた「水と光の首都大阪」の実現に取組む「光のまちづくり推進委員会」が策定した「大阪光のまちづくり2020構想」の情報共有を図り、大阪における光のまちづくりを推進	「水と光の首都・大阪」の実現	「大阪光のまちづくり2020構想」アクションプランの第3フェーズ（2017～2019年）の策定	2017年1月24日開催の「水と光のまちづくり推進会議」において、光のまちづくり推進委員会の活動として、同アクションプランの第3フェーズに関する検討状況を報告した。	「大阪光のまちづくり2020構想」アクションプランの第2フェーズ（2014～2016年）の取組みとして、以下の成果があった。 ・日常の光として365日楽しめる風景が確立されつつある。 ・多様な主体による非日常の光が四季折々の魅力を形成した。 ・ブランディングプロモーション手法・ツールが整いつつある。	予算事業なし	予算事業なし
8	万博記念公園の魅力創出	大阪府	「太陽の塔」の耐震化、塔内のオブジェ「生命の樹」の再生及び地下展示室の増設（「地底の太陽」再生）等により、新たな魅力づくりを行う。	公園の魅力・観光価値を高め、来訪者が増加。	自然文化園入園者数：300万人（2020年度）	平成28年度実績：約220万人	「太陽の塔」耐震工事及び内部公開に向けた取組みについては、順調に進捗。2018年3月の一般公開に向けた取組みを引き続き進める。	太陽の塔耐震改修工事事業（予算：166,093千円、決算：162,508千円） 太陽の塔内部展示制作委託事業（予算：55,100千円、決算：55,079千円）	-
9	百舌鳥・古市古墳群の魅力創出	大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市	2010年に世界遺産暫定一覧表に記載された「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の早期実現に向けた取組を進める。	2018年度の世界文化遺産登録	2016年度の国内推薦獲得に向け、地元や首都圏における機運の醸成を図り、世界文化遺産登録の早期実現に向けた取組を進める。	テレビ番組制作・イベント及び登録応援大使の任命等機運醸成を図るとともに、東京都内では初めてのシンポジウムの開催をした。また、2017年3月末には文化庁へ推薦書原案を提出した。	2016年度において目標を達成することができなかったが、様々な取組により機運醸成を図った。また、2017年3月末には文化庁へ推薦書原案を提出し、現在、国内推薦に向けて取組を進めている。	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業（予算：23,535千円、決算：18,880千円）	-
10	ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信	大阪府、市町村、民間事業者	大阪の魅力スポットやそれらを巡るルートにストーリー性を持たせて再編集し、地域における観光資源の磨き上げや受入環境の整備等を支援する事業を実施する。	国内外からの集客・周遊性の向上をめざした環境整備	市町村等とも協議しながら、事業スキームについて検討を行う。	市町村等とも協議しながら、事業スキームについて検討を行った。	2016年度の検討状況を踏まえ、平成29年度の事業実施に向け、引き続き市町村等と協議し、詳細を検討する。	-	-
11	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 歴史拠点の創出	大阪市（経済戦略局、建設局）	・豊臣期に築かれた初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開する施設を整備 ・特別史跡大坂城跡保存管理計画を推進し、文化財を整備・活用 ・難波宮跡公園のハード・ソフト両面からの魅力向上 等	まちの魅力向上	【大阪城公園関連】豊臣石垣公開施設の整備に向けた設計業務の見直し 【難波宮跡公園関連】年度内にマーケットサウンディングを実施する。	【大阪城公園関連】豊臣石垣公開施設の施設の見直しを行った。 【難波宮跡公園関連】マーケットサウンディングを実施した。	【大阪城公園関連】 ・発掘調査の結果を踏まえ、公開施設、及び展示設計の見直しを予定どおり行った。 ・特別史跡大坂城跡保存管理計画の推進に関しては来年度からの整備基本計画の策定に向けての準備・検討を行った。 ・日本遺産については、文化庁に対し、『大坂夏の陣』に語り継がれる現代大阪』として申請を行った。 【難波宮跡公園関連】 ・マーケットサウンディングを実施し、その結果を踏まえながら今後の民活導入にむけた課題等の整理を進めている。 ・今後の公園整備にあたり、史跡難波宮跡の保存と今後の活用方針を定めた「史跡等保存活用計画」を作成する必要がある。	経済戦略局 大阪城観光拠点化事業（予算：123,663千円、決算：20,587千円） 建設局 難波宮跡公園整備事業（予算：1,500千円、決算：864千円）	284,500千円、決算276,030千円

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
12	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 世界的観光拠点化	大阪市	・2014年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出	大阪城公園の魅力向上	各施設の利用者(件)数:天守閣220万人、野球場800件、西の丸庭園27万人、豊松庵20件、音楽堂100件 満足度調査:85%	各施設の利用者(件)数:天守閣255万人、野球場977件、西の丸庭園26.5万人、豊松庵57件、音楽堂97件 満足度調査:86%	・既存改修事業、新規施設整備ともに、おおむね計画どおり事業進捗している。 ・利用者(件)数、満足度ともに、成果指標をおおむね達成した。	-	大阪城エリア観光拠点化事業(予算:113千円、決算:33千円)
13	中之島地区の魅力向上 > 新しい美術館の整備	大阪市	大阪市が所蔵する第一級のコレクションを活用して、市立美術館や東洋陶磁美術館とは異なる新たな魅力にあふれる「(仮称)大阪新美術館」を、2021(平成33)年度の開館をめざして整備する。 また、「(仮称)大阪新美術館」の整備に取り組むことにより、中之島地区の魅力向上に貢献していく。	中之島地区の魅力向上に貢献し、来訪者が増加	開館後の年間入場者数 約60万人 経済波及効果 180億円(施設整備時) 58億円/年(運営時)	-	公開で実施した公募型設計競技のプレゼンテーションは、多数の傍聴者がありマスコミにも取り上げられた。設計事業者の選定だけでなく、整備の情報発信にもつなげることができた。	-	新しい美術館の整備事業(予算:45,223千円、決算:42,084千円)
14	中之島地区の魅力向上 > 大阪市中央公会堂100周年を契機とした魅力発信	大阪市	2018年に開業100周年を迎える国指定文化財・大阪市中央公会堂の魅力を広く伝える行事を実施することで、引き続き大阪の誇る資産として魅力を発信していく。	中央公会堂開館100周年の機運醸成による中之島地区の魅力向上	事業スキームを検討	情報収集、事業スキームの検討を実施	スケジュールどおり、事業スキームを検討した。	-	-
15	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋の空間再編	大阪市、民間事業者	側道を利活用した御堂筋の歩行者空間化に向けた道路空間再編を行う。	御堂筋における歩行者の安全性向上	整備後の御堂筋を通行することに満足している歩行者の割合(歩行者の安全性向上):2013年度 45%→2018年度 55%	御堂筋の難波~難波西口間東側区間(200m)の整備が完了し、整備後の効果検証を一部実施した。	モデル整備区間での歩行者と自転車との交錯が一定改善され安全性が向上した。検証業務については一定の整備効果が確認できたが、引き続き検証項目の精査を行っていく必要がある。	-	御堂筋の活性化(予算:66,000千円、決算:78,065千円)
16	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋活性化事業	大阪府、大阪市、国土交通省近畿地方整備局、経済団体、大阪観光局	大阪のシンボルストリートである御堂筋を歩行者に開放し非日常的なイベントを実施。御堂筋・大阪の魅力を国内外に発信する。	御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信する。	2015年度実績以上とする。 報道等掲出回数:51回、来場者の満足度:76.6%	2016年度実績 報道等掲出回数:78回、来場者の満足度:65.0%	メダリストによるKIDSストリート陸上体験、飲食・出展ブース、ケータリングカー等が楽しめる「にぎわい出展エリア」を開催。来場者から好評を得られた。	御堂筋開放事業(予算:18,000千円、決算:17,913千円)	御堂筋活性化事業(予算:18,000千円、決算:17,967千円)
17	御堂筋地区の魅力向上 > クオリティの高いにぎわい空間や官民協働によるブランドの創出	大阪市、民間事業者	沿道建築物のデザイン等の誘導を図るとともに、彫刻ストリートなどにより、上質なにぎわいを創出する。 また、市内の御堂筋・梅田・中之島地区を中心とするエリアマネジメント団体の交流や情報交換を目的とする会議を開催し、大阪都心部のエリアマネジメント活動の推進を図ることを目的としたガイドラインの策定に向けた検討を行う。	・上質なにぎわい空間の創出 ・ガイドラインに基づく民間事業者等の取組の促進	・沿道美化活動の継続(年1回以上) ・大阪エリアマネジメント活性化会議の設立	・美化活動2回/年(300名/回) ・2017年1月に同会議を開催	・御堂筋彫刻ストリートの保全、エリアマネジメント団体と連携したイベント等の取組を支援した。 ・大阪エリアマネジメント活性化会議を2017年1月に開催し、各団体の活動事業等の情報共有を行った。	-	建築美観誘導関係事務(予算:692千円、決算:317千円) 御堂筋の景観整備(彫刻ストリート)(予算:3,994千円、決算:2,257千円) エリアマネジメント活動促進制度関係事務(予算:2,150千円、決算:2,214千円)
18	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 > 天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進	大阪市	天王寺公園・動物園を核として、周辺観光施設等と連携しながら、地区全体の魅力発信・集客促進に取り組む	天王寺・阿倍野地区の魅力向上	ビックデータ(位置情報等の)活用にかかる情報収集 地区内施設のニーズ把握の手法の検討	ビックデータ(位置情報等の)活用にかかる情報収集 地区内施設のニーズ把握の手法の検討	天王寺・阿倍野地区の魅力向上に向けて、観光ビックデータを活用した分析を検討してきたが、同データの活用方法や地区内の観光施設のニーズ等を把握したうえで、今後の進め方について再検討が必要。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考) 大阪府 予算事業名・予決額※	(参考) 大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
19	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 > 天王寺公園・動物園の魅力向上	大阪市	天王寺・阿倍野地区において、地区の核となる天王寺公園・動物園の官民連携等による魅力向上・活性化、ひいては天王寺・阿倍野地区全体の集客力・ブランド力の向上を図る。	天王寺公園の魅力向上、来園者数が増加	・公園来園者数：2012年度129万人（実績）を2017年度に260万人にする ※てんしばオープン前の目標値につき2017年秋に見直し予定。 ・動物園来園者数：2012年度124万人（実績）を2019年度に175万人にする	・エントランスエリア等来園者数：2016年度380万人 ・動物園来園者数：2016年度167万人	・民間活力を導入した天王寺公園エントランスエリア（てんしば）において、賑わい創出の取組みを進めた結果、2015年10月のオープンから1年間で約420万人が来園するなど、大きな成果を上げた。 ・天王寺動物園101計画を着実に推進していくために行動計画を策定し、改善の取組みを進めた。 ・歩行者専用道沿いのフェンス撤去を行い、公園内回遊性向上に取り組んだ。 ・新たに天王寺動物園ゲートエリアの官民連携事業に取り組んだ。	-	【経済戦略局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（予算：17,239千円） 【建設局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（予算：公園148,878千円、動物園62,350千円）
20	大阪市立美術館の魅力向上	大阪市	市立美術館では、世界的に著名な美術館などから展覧会開催を打診されており、大規模な展覧会を開催することでより多くの集客が見込まれることから、これを天王寺エリアの活性化につなげる。 大規模な展覧会を開催するには厳密な空調管理等、きめ細かな管理運営が必要になるため空調設備の機能向上を図る。 さらに、さらなる美観の向上を図るため屋根トップライト改修及び安心安全を確保するため外壁改修工事を実施する。	・空調設備更新の実施 ・屋根トップライト改修工事及び外壁改修工事の実施	・空調設備更新の実施 ・屋根トップライト改修工事及び外壁改修工事の実施	・空調設備更新の実施 ・屋根トップライト改修工事及び外壁改修工事の実施	・さらなる天王寺公園エリアの魅力向上に貢献するため、空調設備の機能向上を図るとともに、安心安全の確保のため、屋根トップライト改修工事や外壁改修工事を実施した。 ・次年度においては、天王寺・阿倍野エリアの集客拠点として、多くの来館者を呼び込めるよう、現代の美術館として必要な機能強化やサービス向上等を内容とした大規模改修基本計画の早期策定に取り組むとともに、計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会の増加や展示品の充実を図る。	-	大阪市立美術館の魅力向上事業（予算：54,000千円、決算：44,104千円）
21	築港・ベイエリア地区の魅力向上 > クルーズ客船の母港化	大阪市、大阪観光局	・クルーズ客船の母港化により内外集客力を強化 ・新たなウォーターフロントのまちづくりに挑戦し、集客観光拠点化を図り、世界にアピール	クルーズ客船の母港化に向け、観光客増につながる大阪港への寄港回数の増加	2017年度寄港数：50隻	2016年寄港実績：28隻（2015年：21隻）	・クルーズ客船の寄港実績が増加しており、引き続き客船誘致活動を継続していく。 ・客船の大型化に対応した岸壁整備が完了した。 ・天保山客船ターミナル整備については、2016年度に特定事業の選定を行っており、今後、P F I 手続きにおける民間事業者の公募手続を進める。	天保山客船ターミナル整備調査検討事業補助金交付事業（予算：2,100千円、決算：1,382千円）	天保山岸壁機能等整備（予算：345,553千円、決算：194,577千円） 天保山客船ターミナル整備事業（予算：4,200千円、決算：2,914千円） クルーズ客船の誘致・受入事業（予算：11,139千円、決算：9,578千円）
22	築港・ベイエリア地区の魅力向上 > 大阪港開港150年記念事業	大阪市	大阪港開港150年という記念すべき年を、多くの市民の皆様と共にお祝いするとともに、大阪港の港勢伸長及びベイエリアの魅力向上・臨海地域の活性化の契機とする。	大阪港の港勢伸長及びベイエリアの魅力向上・臨海地域の活性化	・実施体制の構築、実施計画書の取りまとめ、記念式典委託事業者の選定等、事前調整の完了 ・大阪港開港150年記念事業協賛金の獲得（2017年11月末までの目標額：10,000千円）	・事前調整を完了した。 ・協賛金として、14,200千円を獲得し、目標額を達成した。	事前調整（大阪港開港150年記念事業推進委員会の立ち上げ、実施計画書の取りまとめ、開港記念式典実施委託事業者の選定など）は、概ね計画どおり事業進捗している。また、協賛金は、港運・物流を中心とした大阪港のユーザー（事業者）に対し事業のPRを行った結果、多くの事業者から賛同いただき、目標額を上回る額を獲得することができた。 2017年度は、市民レベルでの機運醸成と事業認知度の向上に向け情報発信の充実に努める。	-	大阪港開港150年記念事業（予算：4,900千円、決算：4,846千円）

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
23	大阪駅周辺地区の 魅力向上	大阪市、大阪府、 民間事業者	うめきた2期まちづくりの推進 ・世界の人々を惹きつける魅力を備えた「みどり」と、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点形成に向けた取組の実施	うめきた地区の魅力向上、にぎわい創出 うめきた2期まちづくりの機運醸成	うめきた2期区域暫定利用にかか る事業：9事業 基盤整備事業の着実な推進	うめきた2期区域のまちづくり実現に 向け、大阪駅周辺地域部会を2 回開催（4月、1月） 民間開発事業者募集の前提とな る地区計画等の都市計画を決 定。 暫定利用事業として9事業を実施 し、約21万人が参加・来場。 多くの方々の賛同と支援を頂きな がらうめきたのまちにふさわしい「み どり」づくりを進めるため、新たに寄附 の受入を開始。 基盤整備について、新駅設置事 業及び東海道線線地下化事 業において全工区で工事に本格 着手。	大阪駅周辺地域部会の開催のほか、暫定利用事 業やプロモーション活動等を通じて、うめきた地区の 賑わい創出や2期まちづくりの機運醸成を図ることが できた。また基盤整備についても、地区計画等の都 市計画を決定するとともに、関係者等との調整を行 い、円滑な事業進捗が図られている。	うめきたまちづくり推進事業 （予算：2,000千円、決 算：1,998千円） ※参考 その他うめきた2期 土地区画整理事業費 （67,500千円）	うめきた2期区域まちづくり 関連事業（予算： 12,000千円、決算： 11,988千円 左記、大阪 府事業費を含む全体事業 費） ※参考 その他うめきた2期 区域基盤整備事業費 （8,544百万円 左記、 大阪府事業費を含む全体 事業費）
24	なんば駅周辺道路 空間再整備	民間事業者、経済 団体、大阪市、大 阪観光局、大阪府	なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間 から人中心の空間へと再編し、地元組織等の エリアマネジメント活動により、世界を惹きつけ る観光拠点として上質で居心地の良い空間 の創出を図る。	大阪のおもてなし玄 関口として、世界を ひきつける観光拠点 を整備し、居心地の 良い空間を生み出 すとともに回遊性を 高める。	社会実験の実施によるなんば駅周 辺道路空間の広場化に向けた交 通影響の把握及び、にぎわいの創 出にかかる検証を行う。	社会実験を実施し、交通影響の 把握及び、にぎわいの創出にかかる 検証を以下のとおり行った。 ・社会実験（3日間）での来場 者数8.7万人 ・広場化について日本人90.2%、 外国人89.1%が「とても良い・良 い」と回答（来場者アンケート） ・周辺交差点の、交差点需要率 および流入部混雑度は、評価基 準値以下	社会実験の実施により、なんば駅周辺道路空間の 広場化に伴う周辺への交通影響がなかったこと、にぎ わいの創出が図れることが確認できた。	-	拠点地区開発計画策定 調査（予算：9,471千 円、決算：4,010千円） ※他地区との合算
25	国内外の人々を惹 きつけるキラコンテ ンツの創出	大阪府	国内外に発信できる集客装置である御堂筋 を活用して、非日常的なオンリーワンコンテ ツを通じて大阪の魅力を内外へ発信し、多く の方に大阪に来ていただくための起爆剤となるイ ベントを開催。	御堂筋を国内外に 発信できる集客装 置として活用して、 国内外からの話題を 集め、御堂筋・大阪 の魅力を発信する。	2015年度実績以上とする。 報道等掲出回数：51回、来場 者の満足度：76.6%	2016年度実績 報道等掲出回数：78回、来場 者の満足度：65.0%	御堂筋ならではの上質なエンターテイメントとして、海 外で活躍するアーティストによるファッションショーやメダ リストによるスポーツコンテンツ等からなる「御堂筋ラン ウェイ」（11月）を開催した。 報道等掲出回数は昨年度を大きく上回る結果を得 られた。	国内外からの誘客促進事 業 （予算：30,038千円、 決算：30,038千円）	-
26	大阪・光の饗宴の魅 力向上	大阪府、大阪市、 経済団体、大阪観 光局、民間事業者	「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のル ネサンス」をコアプログラムとし、地域の活性化 に取り組む団体等が大阪府内各エリアで展開 する光のプログラムをエリアプログラムとして、一 体的にプロモーション展開することにより、大阪 の冬を代表する観光コンテンツとして、官民の 連携・協働により都市魅力の創造・発信や都 市ブランドの向上や国内外からの多くの観光 誘客を図り、大阪の活力向上につなげる。	大阪のシンボルで ある御堂筋や中之 島を光で彩り、府域 の民間等の光のプロ グラムと連携すること により、圧倒的な光 景観を創出し、国内 外からの集客を図る	大阪・光の饗宴全体の来場者 数：1,200万人以上 大阪・光の饗宴として連携実施す る民間等の団体数：20団体	大阪・光の饗宴全体の来場者 数：1,293万人 大阪・光の饗宴として連携実施す る民間等の団体数：16団体	地域の活性化に取り組む団体等が実施するエリア プログラムとプロモーション連携を実施することにより、 来場者数、経済波及効果とも前年度を上回る結果 が得られた。	大阪・光の饗宴（御堂筋 イルミネーション）事業費 （予算：202,308千円、 決算：193,385千円）	大阪・光の饗宴事業（予 算：180,000千円、決 算：173,653千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

							年度	2016	
※決算は見込額									
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考) 大阪府 予算事業名・予決額※	(参考) 大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
27	大阪マラソンの魅力向上	大阪府、大阪市、民間事業者	世界トップレベルの市民マラソンを目指すためのさらなる魅力づくりを目指すとともに、大会の国際化を推進	大阪マラソンの魅力向上を図り、海外ランナーのエントリー数を増加	海外ランナーエントリー数：前年度並み（7,500人）	海外ランナーエントリー数：10,332人	大阪マラソン公式ホームページで多言語のホームページの作成や、SNSやメルマガを英語で発信するなど海外ランナーの誘客増加につながる取組を行った。その結果、海外ランナーのエントリー数は、前年度より2,854人増加した。引き続き、大阪マラソンの魅力にかける情報発信強化に取り組んでいく必要がある。	大阪マラソン開催事業（予算：90,000千円、決算：90,000千円）	大阪マラソン開催事業（予算：90,000千円、決算：90,000千円）
28	スポーツツーリズムの推進	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	ランドマークなど大阪のブランド力を活用したスポーツイベントを誘致・開催する。また、プロスポーツチームと連携した都市魅力の発信、観光振興につながる取組を推進	・観光集客を通じて地域を活性化する<府・市> ・スポーツを活かした都市魅力創出、誘客促進<市>	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数：280万人<府・市> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催：2件以上<市>	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数：290万6,534人<府・市>	・観客者合計数について、目標数値を達成した。今後、旅行者のニーズを踏まえた魅力ある旅行商品の企画・開発に努めるとともに、大阪観光局と連携してプロモーションを強化する。<府> ・国際競技大会を招致・開催し、継承発展させていくことが、国際スポーツ都市を世界にアピールするために重要であるため、引き続き国際競技大会を実施していくと共に、2016年9月に公表した舞洲プロジェクトを2017年4月から円滑に行えるよう準備を行う。<市>	-	スポーツ競技大会の開催（予算：21,100千円、決算：20,560千円） 舞洲スポーツ振興事業（予算：0円、決算：0円）
29	大阪の食の魅力の創出・発信	大阪観光局、民間事業者、経済団体、大阪府	府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムの構築を検討。	・外国人旅行者の利便性向上	・多言語メニュー作成支援システムの検討	・多言語メニュー作成支援システムの構築を2017年度より実施	府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムを2017年度より構築することとなった。	-	-
30	民間との連携による食の魅力発信	大阪市、民間事業者	民間事業者等との連携により、大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツを開発する。	観光魅力の向上	株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働事業の実施	インバウンド対策セミナー、「健康・ヘルシーメニュー」推進セミナー、市内小学校における食育教室の3事業を実施	株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働事業により、大阪の食の魅力を発信できた。今後、「質の追求」による旅行者の満足度向上やリピーター獲得などにより、更なる観光消費の拡大につなげていくため、現在の取り組みをさらに発展させ、食と歴史などの観光資源を組み合わせた上質な観光商品を、統一したブランドとして打ち出し、旅行商品としてPRを進めていく。	-	「歴史」と「食」の魅力発信事業（予算：5,000千円、決算：526千円）
31	天満・天神橋地域の魅力発信	大阪市	大阪天満宮・大阪くらしの今昔館・天満天神繁昌亭・天神橋筋商店街など、地域の都市魅力資源を活かし、天満・天神橋地域の魅力を広く発信する。	観光客の誘致強化	大阪くらしの今昔館入館者数：400千人	大阪くらしの今昔館入館者数：576千人	マスメディアや来館者を通したソーシャルメディア等により、今昔館や周辺地域の魅力情報が国内外に向けて広く発信された。また、地域特性を活かした様々なイベント開催や、大阪の歴史文化をよりわかりやすく体感するための受入環境の充実などにより、観光客の誘致強化を図ることができた。	-	住まい情報センター事業のうち今昔館分経費（予算：63,342千円、決算：55,262千円）
32	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業	大阪市	船場地区において、歴史的・文化的な建築資源周辺の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備を実施するとともに、回遊性向上の取組み等を実施する。	観光魅力の向上	・芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺の2箇所の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備 ・芝川ビル周辺（伏見町通）と大阪倶楽部周辺（今橋通）に観光案内板を設置 ・民間団体によるイベント等、周遊性を促す事業の実施を支援	・芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺の2箇所の工事が順調に進捗 ・芝川ビル周辺（伏見町通）と大阪倶楽部周辺（今橋通）に観光案内板を設置完了 ・NPO法人主催のまち歩きイベントを、市として後援	2箇所の無電柱化工事を進めるとともに、道修町通りの道路整備にかかる概略設計を実施し、地元のみちづくり協議会と協働し、地域調整・検討を実施。また、芝川ビル周辺（伏見町通）と大阪倶楽部周辺（今橋通）に新たに観光案内板を設置しており、概ね予定通り進捗できている。	-	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業（予算：487,178千円、決算：222,760千円） 【参考】経済戦略局（予算：9,178千円、決算：2,515千円） 建設局（予算：478,000千円、決算：220,245千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
33	恒常的なまちの魅力向上支援事業補助金	大阪府	大阪ミュージアムの取組の一環として、住民参加によるまちの魅力向上とホスピタリティの向上に資することを目的に、地域が主体となった恒常的なまちの魅力向上及び景観形成の取組を支援する。	住民参加によるまちの魅力向上・景観形成	補助事業実施団体数：2団体以上	補助事業実施団体数：5団体	2016年度から「恒常的なまちの魅力向上・景観形成事業」に限定した補助としている。補助事業実施団体には、成果指標（数値目標）を設定させているが、概ね目標は達成できている。補助対象物は、補助事業のほか、当該団体の属する自治体や民間事業者等において実施される都市魅力向上の取組等にも活用されている。	大阪ミュージアム推進事業（うち まちの魅力づくり支援）（予算：4,848千円、決算：4,821千円）	-
34	Wi-Fi設置の拡充	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者、市町村	大阪観光局において、Osaka Free Wi-Fiの整備を促進する。	・まちの魅力向上 ・観光客の利便性・回遊性の向上	2017年3月終了時 プラス500拠点（府域内）	2017年3月終了時 プラス756拠点（府域内）	Osaka Free Wi-Fiの拠点数が、2016年3月終了時の4,085拠点から4,841拠点まで756拠点増加し、観光客の利便性の向上につながった。	-	大阪観光局事業（予算：320,118千円、決算：320,118千円）の一部
35	公共交通機関等と連携した受入環境の整備	大阪府、民間事業者	乗継利便性の向上を図るため、乗継ぎ駅における案内モニターの設置や経路床面における表示等、旅行者の利便性向上に向けた環境整備を促進。	外国人利用者の利便性が向上し、来訪者が増加	乗継案内の充実を図る鉄道事業者に対する新たな補助制度について年度内に検討を行う。	乗継案内の充実を図る鉄道事業者に対する新たな補助制度を2017年度より実施予定	鉄道事業者に対し、乗継案内の充実を図る取組みへ補助金を交付する制度について検討し、2017年度より実施することとなった。	公共交通機関等と連携した受入環境整備事業（予算：0千円、決算：0千円）	-
36	観光公衆トイレの整備促進	大阪府、民間事業者、市町村	市町村が実施する観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修に係る経費について補助金を交付する事業を検討。	・まちの魅力向上	・市町村への補助金を交付する事業を年度内に検討	・市町村への補助金を交付する事業を平成29年度より実施	市町村が実施する観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修に係る経費について補助金を交付する事業を検討し、2017年度より実施することとなった。	-	-
37	宿泊施設における「おもてなし」環境の整備事業	大阪府、民間事業者	府内の宿泊施設を対象に、施設内の案内表示等の多言語化、Wi-Fi等のIT環境の整備やトイレの洋式化など、宿泊客の利便性や満足度の向上に繋がる取組を支援する事業を検討。	・宿泊客の利便性や満足度の向上	・宿泊施設の受入拡充を支援する事業を年度内に検討	・宿泊施設の受入拡充を支援する事業を平成29年度より実施	府内の宿泊施設を対象に、施設内の案内表示等の多言語化やトイレの洋式化など、宿泊客の利便性や満足度の向上に繋がる取組に対し支援を行うとともに、特に、特区民泊施設については、認定促進につながるよう、消防設備の整備等を支援する事業を2017年度より実施することとなった。	-	-
38	歩行者案内標識整備	大阪市	鉄道駅から主要集客施設までのルート上に歩行者案内標識を整備するとともに、集客施設内の案内看板など関係先と調整して案内施設を整備することで回遊性の向上を図る。	来街者の回遊性・利便性の向上	先行地区である大阪城周辺地区における歩行者案内標識整備完了	2017年5月に完了予定	先行地区における歩行者案内標識の整備は概ね予定通り進捗し、来街者の回遊性・利便性の向上に寄与するものと考えている。	-	交通安全施設等整備（歩行者案内標識）（予算：8,000千円、決算：9,947千円）
39	「トラベルサービスセンター大阪」の運営	大阪府、大阪観光局、民間事業者	来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応するなど、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」をJR大阪駅構内に設置。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リピーターの確保	「トラベルサービスセンター大阪」を年度内に開設。	・「トラベルサービスセンター大阪」を2017年3月に開設	当初予定どおり、2017年度内に「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」を開設し、運営を開始した。	大阪おもてなしステーション（仮称）整備運営費（予算：38,184千円、決算：35,391千円）	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
40	観光案内所の運営	大阪府・大阪市・大阪観光局・民間事業者・市町村	大阪観光局において、観光案内所（大阪観光案内所・難波観光案内所）の運営を行う。	観光案内機能の充実	大阪案内所の拡張による来所件数の増加	3月1日～3月23日 拡張前 1日平均件数 1,173.9件 3月24日～3月31日 拡張後 1日平均件数 1,754.5件	案内所の移転拡張と営業時間の延長により、来所者が増加し、観光客の利便性の向上につながった。今後は、手狭になりつつある難波案内所についてもスペースの確保を含めたあり方の検討が必要。	大阪観光局運営事業（予算：179,883千円、決算：179,883千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,235千円、決算：140,235千円）の一部	大阪観光局事業（予算：320,118千円、決算：320,118千円）の一部
41	観光客への情報提供機能の充実	①観光客の受入環境の充実	日本人旅行者を含む多くの来阪旅行者に、自国語若しくは使用言語による観光マップを見ていただくことで、大阪の「おもてなし」精神を伝えとともに、大阪府内全域をスムーズかつ安心して移動してもらうための多言語マップの作成を検討。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リーダーの確保	・多言語マップの作成について検討	・多言語マップを2017年度に作成	府域の観光情報を掲載した大阪全体の観光マップの作成を検討し、2017年度に作成することとなった。	-	-
42	観光案内板等の整備促進	大阪府、市町村、民間事業者	市町村が実施する多言語による観光案内板の設置・改修に係る経費について補助金を交付する事業を検討。	・まちの魅力向上	・市町村への補助金を交付する事業を年度内に検討	・市町村への補助金を交付する事業を2017年度より実施	市町村が実施する多言語による観光案内板の設置・改修に係る経費について補助金を交付する事業を検討し、2017年度より実施することとなった。	-	-
43	観光案内板等の掲載情報の更新等	大阪市	外国人観光客にとって需要のある場所に設置した観光案内板を、より分かりやすく、利便性の高いものへと更新し、観光情報の提供や周辺案内の充実を図る。	観光客の回遊性・利便性の向上	観光案内表示板の地図等掲載情報を適宜更新	2017年3月に、大阪観光案内所の移転にかかる集客施設19箇所への掲載情報の盤面更新を実施した。	地下鉄駅55箇所の案内板については、予定どおり撤去及び交通局への移管を完了した。また、集客施設19箇所の観光案内表示板については、大阪観光案内所の移転にかかる掲載情報の盤面更新を実施したことにより、地域周辺への回遊性や利便性向上を図った。	-	観光案内表示板の整備事業（予算：2,579千円、決算：480千円）
44	観光ボランティアの育成	大阪府、民間事業者	市町村が実施する観光ボランティアの育成事業（研修等）に係る経費について補助金を交付する事業を検討。	・まちの魅力向上	・市町村への補助金を交付する事業を年度内に検討	・市町村への補助金を交付する事業を2017年度より実施	市町村が実施する観光ボランティアの育成事業（研修等）に係る経費について補助金を交付する事業を検討し、2017年度より実施することとなった。	-	-
45	観光ボランティアガイドとの連携	大阪市	大阪観光局及び大阪観光ボランティアガイド協会との連携により、大阪城公園内での観光案内を行い、大阪のホスピタリティの醸成を図る。	ガイド利用の促進	大阪城内外ガイド利用人数 前年度比同数以上（2015年度：112,240人）	2016年度：155,154人	2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」効果やまち歩きガイド、公開講座などによりガイド利用人数が前年比30%増加した。	-	大阪城エリア観光拠点化事業（大阪城公園内特設案内所における観光案内業務の分担金）（予算：2,200千円、決算：2,200千円）
46	多言語対応の強化	大阪府、民間事業者、大阪観光局	府内の宿泊施設等の多言語対応の取組みを支援する事業及び府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムの構築を検討。	・外国人旅行者の利便性や満足度の向上	・宿泊施設等の多言語化支援事業及び多言語メニュー作成支援システムの検討	・宿泊施設等の多言語化支援事業及び多言語メニュー作成支援システムの構築を2017年度より実施	府内の宿泊施設等の多言語対応の取組みの支援する事業及び府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムの構築を検討し、2017年度より実施することとなった。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
47	観光バス乗降場環境整備	大阪市	観光バスを利用して中央区ミナミエリアを訪れる国内外からの観光客が、ミナミエリアを円滑に周遊できるよう、日本橋観光バス乗降スペース付近に観光案内表示を設置し、案内を充実する。 また、観光客の滞留スペースや安全・安心を確保するため、日本橋において歩道拡幅を行う。	観光客の利便性・安全性の向上	日本橋乗降場付近に観光案内表示を設置（2017年度末）	案内表示設置に向けた契約準備	案内表示の設置に向けて、関係者との協議を行うとともに、仕様内容を決定し、円滑に準備を進めている。 あわせて、滞りなく日本橋乗降場歩道拡幅設計業務を遂行した。ただし、工事期間中の乗降場の運用について関係機関との協議等が必要。	-	道路交通基本調査（予算：7,000千円、決算：4,526千円）
48	外国人旅行者の災害時における安全確保	大阪府・市町村・民間事業者	外国人旅行者が災害発生時に必要な情報入手できる環境の整備及び行政、観光施設・宿泊施設等、関係者の役割分担によるサポート体制の構築	災害情報を入手しやすい仕組みづくりとともに、災害時の円滑な支援体制を構築し、外国人旅行者が安心して旅行できる環境づくりをめざす	「府内観光関連事業者向け 災害時における外国人旅行者 支援フロー（案）」の策定	「府内観光関連事業者向け 災害時における外国人旅行者 支援フロー（案）」を策定	ポータルサイトに府内の訪日外国人受入医療機関検索HPのリンクを追加するなど内容の充実を図るとともに、その周知を図るため、広報カードを増刷した。地域の意見を反映した支援体制を構築するため、大阪市と堺市の2地域の自治体・宿泊施設・観光施設が参画するワークショップを開催し、支援フロー（案）をとりまとめた。 引き続き外国人旅行者の災害時における安全確保のための取組みを進める。	外国人旅行者安全確保事業（予算：1,409千円、決算：731千円）	-
49	文化・観光、商業施設等の開館・営業時間の延長	大阪府・民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインパウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組む事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を補助する。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出する。	夜間公演等を実施する事業者に対する補助制度について検討を行う。	夜間公演等を実施する事業者にヒアリングを行い、補助制度について検討を行った。	夜間公演等を実施する事業者に対する補助制度について検討を行った。2017年度における補助制度の創設に向け引き続き取組みを行う。	-	-
50	イベント・公演等の開演時間の繰り下げ	民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインパウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組む事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を補助する。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出する。	夜間公演等を実施する事業者に対する補助制度について検討を行う。	夜間公演等を実施する事業者にヒアリングを行い、補助制度について検討を行った。	夜間公演等を実施する事業者に対する補助制度について検討を行った。2017年度における補助制度の創設に向け引き続き取組みを行う。	-	-
51	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	大阪府、民間事業者	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜間のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上のため、ランドマークのライトアップの現状把握に努め、民主導の取組みを推進する。	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜間のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	大阪府都市魅力戦略推進会議で議論が行われた。	2017年度より、ランドマークのライトアップの現状把握に努め、民主導の取組みを推進する。	-	-
52	MICE誘致の推進	大阪府・大阪市・大阪観光局・経済団体・民間事業者	官民が一体となって、ターゲット等を明確にした方針に基づき戦略的にMICE誘致を展開するとともに、大阪におけるMICE受入体制の充実を図る。	誘客促進	大阪におけるMICE推進方針の策定	大阪におけるMICE推進方針の策定	「大阪におけるMICE推進方針」において、計画どおり官民一体となった行うMICE推進体制の構築や誘致活動の方向性を定めるとともに、大阪のMICE拠点の役割分担・機能強化の方向性を定めた。	大阪観光局運営事業（予算：179,883千円、決算：179,883千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,235千円、決算：140,235千円）の一部	大阪観光局事業（予算：320,118千円、決算：320,118千円）の一部

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
53	大阪観光局運営事業(大阪版DMO推進事業)	公益財団法人大阪観光局(大阪版DMO)	大阪観光局において、観光のプロ組織による観光振興事業を展開し、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、交流を通じたにぎわいづくりに取り組むとともに、新たに大阪観光局を「大阪版DMO」とし、戦略的なマーケティング、情報ネットワークや観光案内機能のワンストップ化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組む、大阪への来訪者・宿泊者数を増加させ経済効果の向上を図る。	誘客促進	大阪版DMO戦略の策定	大阪版DMO戦略を策定	2016年4月、大阪観光局を「日本版DMO候補法人」に登録するとともに、国の地方創生推進交付金を活用して「大阪版DMO」事業を開始し、大阪観光局において、マーケティングや観光プロモーションを戦略的に実施していくために必要となる機能強化を図り、マーケティングリサーチに基づく大阪版DMO戦略の策定や24時間多言語コールセンターの設置等の取組みを通じて、計画的な観光客の誘致を図った。	大阪観光局運営事業(予算:179,883千円、決算:179,883千円) 大阪観光局運営事業(大阪版DMO)(予算:140,235千円、決算:140,235千円)	大阪観光局事業(予算:320,118千円、決算:320,118千円)
54	都市魅力をみんなで支えるネットワークづくり	大阪府、経済団体、民間事業者	文化及び都市魅力創造をみんなで支える仕組みとして、行政、経済界、在阪メディア及び文化・都市魅力創造関係団体が連携し、観光、文化、スポーツ、国際化など様々な都市魅力活動を支えるネットワークづくりの取り組みを行う。	都市魅力活動を支えるネットワークづくり	府域市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催する。	府域市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催した(平成28年度開催実績3回)。	会議の開催を通じ府市町村及び関係団体とおさか都市魅力・観光ネットワークの形成を図った。 平成29年度についても引き続き実施し、おさか都市魅力・観光ネットワークの形成を図る。	-	-
55	国内外への戦略的なプロモーションの展開	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、マーケティングに基づき、観光客や市場ごとのターゲットに応じた効果的なプロモーション活動を展開し、国内外からの誘客の促進を図る。	誘客促進	来阪外国人旅行者数:770万人(2016年)	来阪外国人旅行者数:941万人(2016年、速報値)	・海外プロモーションについては、従来実施してきたアジア地域に加え、欧米・豪州・東南アジア・インド等に対するプロモーションを展開するとともに、現在の来阪状況や市場成長性を基に、「DMO」戦略において、ターゲット国の優先度を整理した。 ・国内プロモーションについては、鉄道・航空会社と連携し、女性やシニア層などのターゲットを絞ったプロモーションを展開した。 ・プロモーションに従事する人材を新たに確保するとともに、SNS等のデジタルマーケティングの取組みを開始するなどの機能強化を図った。	大阪観光局運営事業(予算:179,883千円、決算:179,883千円) 大阪観光局運営事業(大阪版DMO)(予算:140,235千円、決算:140,235千円)の一部	大阪観光局事業(予算:320,118千円、決算:320,118千円)の一部
56	各種プロモーションツールを活用した大阪の情報発信の強化	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、インターネットやSNS、ガイドブックやマップなどの各種プロモーションツールを活用し、多言語による効果的な情報発信を展開する。	誘客促進	来阪外国人旅行者数:770万人(2016年)	来阪外国人旅行者数:941万人(2016年、速報値)	「OSAKA INFO」のデータベースの刷新を行うとともに、大阪の伝統行事やポップカルチャーなどのニューツーリズムに関する情報を発信するためのホームページを新たに開設し、インターネットによる情報発信を行った。 ガイドブックや観光マップなどのプロモーションツールについて、携帯媒体での閲覧が可能となるよう、電子化を行った。	大阪観光局運営事業(予算:179,883千円、決算:179,883千円) 大阪観光局運営事業(大阪版DMO)(予算:140,235千円、決算:140,235千円)の一部	大阪観光局事業(予算:320,118千円、決算:320,118千円)の一部

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
57	大阪ミュージアムの推進	大阪府、市町村	大阪府全体を屋根のないミュージアムに見立て、魅力あるまちなみや自然、祭りやイベントなどを「展示品」や「館内催し」として登録し、その魅力を磨き・際立たせ、内外に発信し、府域への集客促進を図る。	①ホームページ等での情報発信、コンテンツの充実 ②府域での周遊・集客の促進(No.61再掲) ③住民参加によるまちの魅力向上・景観形成(No.33再掲)	①ホームページのアクセス件数：月2万件以上 ②参加者：延3,000人以上(No.61再掲) ③補助事業実施団体数：2団体以上(No.33再掲)	①ホームページのアクセス件数：月2,3万件(平均) ②参加者：延2,638人(No.61再掲) ③補助事業実施団体数：5団体(No.33再掲)	①ホームページのTOP画面のリニューアルやこまめな内容更新、メールマガジンやFacebookによるホームページへの誘導などにより、目標値を上回った。 ②目標数値には届かなかったものの、クイズラリー参加者の9割を超える人が、この内容に「良かった」又は「非常に良かった」と回答し、高い評価を得た。(No.61再掲) ③補助事業実施団体の設定した成果指標は概ね達成されているとともに、補助対象物は自治体や民間事業者等において実施される都市魅力向上の取組み等にも活用されている。(No.33再掲)	大阪ミュージアム推進事業 予算：28,964千円、決算：25,999千円 ※No.33とNo.61を含む。	-
58	大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)	大阪府、大阪市	<目的>美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、府民、市民等から周辺景観の向上に質し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心としたまちなみを募集し、表彰することで地域資源を生かした大阪の魅力発信及び府民の景観に対する意識向上を図る。(設計者による自薦応募も可) <運営>大阪府・大阪市・(公社)大阪府建築士会・(一社)大阪府建築士事務所協会・(公社)日本建築家協会近畿支部・(一社)日本建築協会の共催で行い、運営資金は建築関係団体及び屋外広告物業団体等による協賛による。	・景観に対する意識向上 ・美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりの推進による都市の魅力向上	景観に対する意識向上を図るため、府民や市民による推薦応募を促進し、賞の周知を図る。	推薦者総数 166名、推薦物件件数 103件、審査対象件数 74件、表彰作品 10件 (受賞作品内訳)大阪府知事賞：シマノ本社工場、大阪市長賞：日本生命本店ビル群のほか8件(審査員特別賞、緑化賞、建築サインアート賞、奨励賞)の作品を表彰	166名から応募があり、審査対象件数74件から計10件の作品を表彰することで、府民、市民の景観に対する意識向上を図るとともに、優れた景観づくりに寄与した建築主・設計者等への顕彰を行うことができた。今後も継続して実施することで、引き続き景観に対する意識向上及び都市の魅力向上を図る。	-	-
59	フィルムカウンシル事業の充実	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	大阪観光局において、大阪への映画・ドラマ等のロケーションを誘致するとともに、ロケ地紹介やボランティアエキストラを募集する等、各種撮影支援を行う。	大阪の知名度向上	ロケ誘致・支援数：147件(2016年度)	ロケ誘致・支援数：129件(2016年度)	ロケ誘致・支援数については目標値に及ばなかったが、継続的にPR活動等に取り組み、誘致・支援数の目標達成を目指していく。 なお、ロケ1件当たりの規模のより対外露出等に差があることから、誘致・支援数以外の成果指標の設定についても検討が必要である。	大阪観光局運営事業 (予算：179,883千円、決算：179,883千円) 大阪観光局運営事業 (大阪版DMO) (予算：140,235千円、決算：140,235千円)の一部	大阪観光局事業(予算：320,118千円、決算：320,118千円)の一部
60	観光バス駐車場の確保・充実	大阪市	観光バスの利用が多いミナミアリアアクセスしやすい場所に観光バス駐車場を設け、外国人観光客の急増に伴う受入環境の整備を図る。	外国人観光客の受入環境の整備	観光バス駐車場として確保した交通局所管の幸町用地において、民間事業者による観光バス駐車場運営を行い、10台分の駐車場を確保する。	交通局所管の幸町用地において、民間事業者による観光バス駐車場運営を行い、10台分の駐車場を確保。	交通局所管の幸町用地に加え、大阪城公園内城南駐車場(44台分)、大阪城公園南駐車場(38台分)の増設により、都心観光エリアにおいて、観光バス駐車台数は一定確保できている。引き続き、今後の観光バス駐車場需要の変動などを見極めつつ、迅速かつ的確に対応していく。	-	外国人観光客受入環境整備事業 (予算：11,016千円、決算：11,016千円)
61	魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業	大阪府	大阪ミュージアム登録物を活用して、地域魅力を府内外に発信するとともに、府域への集客・周遊を促す事業を展開する「地域魅力発信事業」を実施する。	府域での集客・周遊の促進	参加者数：延3,000人以上	参加者数：延2,638人	目標数値には届かなかったものの、キャンペーン参加者の9割を超える人が、この内容に「良かった」又は「非常に良かった」と回答し、高い評価を得た。	大阪ミュージアム推進事業 (うち 地域魅力の発信) (予算：6,577千円、決算：6,543千円)	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
62	世界に発信する「大阪文化の祭典」	大阪府	人々を惹きつける質の高い、様々なコンテンツを、大阪はもちろんのこと府外から集め、府内全域で特定期間に集中して見せることで、大阪のエンターテインメント性を際立たせ、多くの観光客を呼び込むとともに、大阪の魅力を国内外に発信していくことにより、国際エンターテインメント都市にふさわしい、世界に誇る文化イベントを目指す。	大阪の魅力を発信、誘客促進	2017年度からの事業実施を目指す	他府県の事例等を調査検討し、2017年度から「大阪文化フェスティバル」を開催する	「第4次大阪府文化振興計画」(2016年11月策定)においても位置づけるとともに、2017年度から「大阪文化フェスティバル」として、事業の実施につなげた。	-	-
63	アートの魅力創出・発信	大阪府	公共の空間や施設内において、都市魅力を向上させ、観光集客につながるようなアート作品を設置することにより、大阪に新たな名所(アートのスポット)の創出を目指す。	大阪の魅力を発信、誘客促進	アートのスポット創出に向けた事業スキームの検討を行う	2018年度からの事業実施を目指し、引き続き調査検討を行う	「第4次大阪府文化振興計画」(2016年11月策定)においても位置づけるとともに、2018年度からの事業実施を目指し、さらに詳細な調査検討を行う。	-	-
64	留学生への大阪文化の魅力発信	大阪府	留学生や海外からの旅行者に大阪文化の魅力伝えていくためのプログラムを企画し、提供する。	留学生や海外からの旅行者の大阪文化に対する理解の促進	留学生や海外からの旅行者に大阪文化の魅力伝えていくための取組みについて検討を行う	まずは、既存の文化事業の中で留学生や海外からの旅行者に大阪文化の魅力伝えていくためのプログラムを企画し提供していく	既存の文化事業の中でプログラムを企画しながら、次のステップに向けて引き続き検討を行う	-	-
65	美術館・博物館の魅力向上(一部再掲)	大阪市	市立美術館、東洋陶磁美術館、歴史博物館、自然史博物館、科学館において、博物館の魅力向上に向けた展示環境の改善など、計画的な施設の改修整備の取り組みを進める。(No.20「大阪市立美術館の魅力向上」を含む) 市立美術館他4館において、博物館としての使命や要件、長年の活動実績を念頭に、取り巻く環境変化にも対応しつつ、次代の博物館群(ミュージアム)として、今後、おおむね10年でめざす姿とその実現に適した運営のあり方(ビジョン)を策定する。 あわせて、ビジョンの実現に相応しい経営形態として、地方独立行政法人化を念頭に、法人設立(2019年4月予定)に向けた制度設計を行う。	・ミュージアムビジョンに定める戦略やアクションプランの実現による博物館魅力の向上。 ※2016年12月の「大阪市ミュージアムビジョン」策定により、アウトカムを設定	・「大阪市ミュージアムビジョン」の策定 ・「博物館施設の地方独立行政法人化に向けた基本プラン」の策定	・「大阪市ミュージアムビジョン」の策定(2016年12月) ・「博物館施設の地方独立行政法人化に向けた基本プラン」の策定(2017年3月)	・「大阪市ミュージアムビジョン」を策定し、博物館行政における長期的な目標を定めた。 ・同ビジョンの実現にふさわしい経営形態が地方独立行政法人であることを戦略会議で確認した。 ・今後、基本プランに基づき、地方独立行政法人化への移行を図る。 ・今後、博物館資料の充実・展示環境の改善・魅力的な展示の実現等を通じて、美術館・博物館の魅力向上を図っていく。	-	大阪市ミュージアムビジョン推進事業(予算:1,699千円 決算:1,346千円)
66	文化魅力の情報発信	大阪府	「大阪ならではの」リーディング事業の実施等を通じて、大阪文化の魅力を発信していく。	大阪の魅力を発信	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて「大阪ならではの」リーディング事業について検討を行う	2017年度から大阪文化フェスティバルを開催する	第4次大阪府文化振興計画(2016年11月策定)においても位置づけるとともに、2017年度に「大阪文化フェスティバル」を開催し、大阪の文化魅力を情報発信していく。	-	-
67	大阪らしい芸術文化の魅力の創出	大阪市	国が主導する文化プログラムの動きを踏まえた取組みとして、大阪の文化資源である伝統芸能を観光資源として活用するためのコンテンツ創出、並びに地域の魅力を発信する事業を実施する。	大阪文化の活性化等をめざすとともに、大阪市内へのデジタル増による大阪の経済の成長を促す	情報収集、事業スキームを検討	情報収集、事業スキームの検討を実施	情報収集、事業スキームを検討し、2017年度予算から事業化したことから、概ね計画どおり進捗している。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
68	アーツカウンシルの機能強化	大阪府、大阪市	大阪の文化力の向上につなげるため、アーツカウンシルの運営体制強化を図り、府市文化事業を評価・審査するとともに、企画や調査機能を高め、アーティスト等へのサポート、府内の文化プログラムの推進や効果検証等に取り組む。	大阪文化にふさわしい文化施策の推進	アーツカウンシルの活動拠点の確保	大阪府立江之子島文化芸術創造センター内において活動拠点を確保	「第4次大阪府文化振興計画」(2016年11月)及び「第2次大阪市文化振興計画」(2016年10月)を策定し、大阪アーツカウンシルの運営体制の強化を位置づけるとともに、大阪府立江之子島芸術創造センター内に拠点を確保した。	大阪アーツカウンシル運営等事業 (予算:13,225千円、決算:9,270千円※市分担金3,738千円含む)	大阪アーツカウンシルによる文化行政の推進 (予算:7,800千円、市決算:5,622千円)
69	若手アーティストらの発表機会の提供	大阪府、民間事業者	芸術文化の担い手を発掘育成するため、若手プロデューサー等のネットワークの構築や、作品発表の機会の拡大を目指す。	芸術文化の担い手の育成・支援	芸術文化の担い手を支援するための取組みについて検討を行う。	芸術文化魅力育成プロジェクト事業等の実績を踏まえ、引き続き検討する。	「第4次大阪府文化振興計画」(2016年11月策定)においても位置づけるとともに、引き続き、芸術文化の担い手の支援に向けて検討していく。	-	-
70	芸術文化を将来へ継承させる青少年の育成	大阪市	大阪市における各区の特性に応じた質の高い芸術文化メニューを青少年対象に実施することを通じて、中長期的に芸術文化にかかる青少年育成が定着することをめざす。	芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成	事業スキームを検討	事業スキームの検討を実施	事業スキームの検討により、2017年度予算として事業化したため、概ね計画どおり進捗した。	-	-
71	ラグビーワールドカップ2019の大阪開催	大阪府、市町村	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進組織を設置し、大会運営に係る関係機関との協議・調整や大会に向けた機運醸成を図るための取組みを展開	2019年9月のラグビーワールドカップに向けた開催機運の醸成を図る	ラグビーワールドカップ2019広報・普及啓発イベント等の参加者数:2万人以上 ラグビーワールドカップの花園ラグビー場開催に対する府民認知度:50%以上	イベント等参加者数:約21,700人 府民認知度:45.9%	ラグビーワールドカップ2019広報・普及啓発事業については、キックオフイベント等の実施により、メディアへの露出を図るとともにイベント等参加者数2万人以上の目標を達成したが、大会開催に対する府民認知度については目標を達成することができなかった、引き続き、大会開催機運の醸成及び認知度向上に向けた取組みを進める。	ラグビーワールドカップ2019開催準備事業 (予算:95,308千円、決算:93,778千円)	-
72	国際的なスポーツイベントなどの誘致	大阪府、大阪市、市町村、民間事業者	大阪のスポーツ都市としてのブランド力を高めるため、注目度の高い国際的なスポーツイベントや合宿を誘致	大阪のスポーツ都市としてのブランド力の向上<府・市>	・合宿地視察等の具体的な調査・問合せ競技数:2競技以上<府> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催:2件以上<市>	・合宿地の具体的な問い合わせ競技数:3競技<府> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催:3件<市>	・合宿誘致パンフレットを競技団体や在関西総領事館に配付し、施設等の問い合わせ段階に止まっている。今後、各種競技団体も含めて、プロモーションツールを活用して大阪の魅力をPRしていく。<府> ・国際競技大会を招致・開催し、継承発展させていくことが、国際スポーツ都市を世界にアピールするために重要であるため、引き続き国際競技大会を実施していく。<市>	オリ・パラ等事前キャンプ誘致事業 (予算:2,574千円、決算:1,724千円)	スポーツ競技大会の開催 (予算:21,100千円、決算:20,560千円)
73	オリ・パラ等事前キャンプ誘致の推進	大阪府、大阪市、市町村	市町村と連携した事前キャンプの誘致やホストタウン登録を推進するため、競技施設等の情報を掲載した広報媒体を作成するとともに、府内競技団体や総領事館等へプロモーションを実施する。	事前キャンプ誘致、「ホストタウン」登録の実現<府・市>	・キャンプ地視察等の具体的な調査・問合せ競技数:2競技以上<府> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の事前キャンプ地として決定<市>	・キャンプ地の具体的な問い合わせ競技数:3競技<府> ・事前キャンプ候補地として、施設PR等のプロモーション活動を実施<市>	・事前キャンプについて、具体的な問い合わせがあったが、誘致には至らなかった。引き続き、大阪府は、誘致主体である市町村を支援する。大阪府は、キャンプ地の決定に向け、プロモーション活動に取り組む。 ・「ホストタウン」について、第三次登録で大阪市(オーストラリア)、泉佐野市(ウガンダ)が登録済みとなった。継続審査中の箕面市、泉佐野市を含め、申請意向のある市町村を引き続き支援する。	オリ・パラ等事前キャンプ誘致事業 (予算:2,574千円、決算:1,724千円)	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

							年度	2016	
※決算は見込額									
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
74	ホストタウンへの登録	大阪市、市町村	大阪市において、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する国・地域のホストタウンとして、国に登録し、相互交流を図る。	スポーツによる地域活性化	ホストタウン登録国とスポーツ分野のみならず、文化や国際交流を行い、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を開催後も継承し、交流事業の継続などレガシーを創出する	オーストラリアのホストタウンとして登録	オーストラリアとの交流計画を策定し、国に申請を行いホストタウン登録を行った。 当該交流計画に基づき、事業展開するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を醸成し、都市魅力の向上に取り組む。	-	-
75	オリ・パラ開催に向けた事業の展開	大阪市	オリンピックを大阪から輩出するため、トップアスリートを育成する団体の支援や、障がいのある人もない人も誰もが楽しめる大規模なスポーツイベントの開催などによる機運の醸成を図る。	東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成	大阪から東京オリンピック代表選手を選出	3競技団体を通じて選手の強化育成を実施	本市スポーツ競技力向上のため、競技大会の開催や人材育成に資する団体等への支援を実施するとともに、トップアスリートの育成のため、補助事業3競技団体を通じて選手の強化育成により、各競技において大阪から日本代表クラスが育成されており、順調に進捗している。	-	競技力向上事業（予算：19,363千円、決算：17,889千円）
76	関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた事業の展開	大阪市	大規模なスポーツ大会の開催時に合わせて、一般参加型のスポーツイベント開催による機運の醸成を図る。	ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に伴う機運醸成を図る	組織委員会において、本市での組織委員会との共催によるセレモニー等の開催の決定	2016年10月の組織委員会第2回総会において、本市での閉会式実施が決定	目標通りに、2016年10月の組織委員会第2回総会において、本市での閉会式実施が決定した。翌年度に向けて、閉会式の実施に向けた関係機関と調整し、会場の選定などの準備を着実に進めていく必要がある。	-	市長杯各種大会の開催（予算：33千円、決算：33千円） 関西ワールドマスターズゲームズ2021（予算：14,000千円、決算：14,000千円）
77	プロスポーツとの連携事業	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	大阪を拠点に活動するプロスポーツチームと連携して、スポーツの振興や産業創出に向け取り組むとともに、都市魅力の発信、観光振興につなげる。	・プロスポーツ観戦を目的とした観光客の誘客促進<府・市> ・プロスポーツチームとの連携によるスポーツ振興及び都市魅力向上<市>	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数：280万人 ・プロスポーツチームとの連携事業スキームの確立<市>	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数：290万6,534人 ・プロスポーツチームとの連携事業スキームの確立<市>	・観客者合計数について、目標数値を達成した。引き続き、関係チームの協力を得ながら、より魅力ある連携事業を企画する。<府> ・2016年9月にプロスポーツチームとの連携による実施方法（舞洲プロジェクト）の公表を行い連携事業スキームの確立を行うことができた。今後は舞洲プロジェクトを2017年4月から円滑に行えるように準備を行う。<市>	-	-
78	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業	大阪府	府民の様々なスポーツニーズに対応するため、スポーツイベント情報、スポーツ施設利用情報、スポーツ団体情報、ボランティア情報等、スポーツに関する様々な情報を提供	スポーツに親しむ府民が増える	アクセス件数：280,000件	269,563件（2015年度243,261件）	前年度実績を越えたが、目標アクセス件数には達しなかった。（達成率96%） 府域のスポーツポータルサイトとして、多様化、高度化する府民のスポーツニーズに対応するため、新しいコンテンツの検討等、さらなる内容の充実にも努めるとともに、利便性を向上させ、利用促進を図る。	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業（予算：2,358千円、決算：2,358千円）	-
79	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進	大阪府、大阪市、市町村	オリンピックやパラリンピックなどのトップアスリートを学校に派遣し、オリ・パラ等の開催に向けた機運醸成やスポーツマンシップの普及	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進を通じた機運醸成<府・市>	・平成29年度に向けた派遣講師、派遣先小学校の選定等の準備・調整を行う<府> ・平成29年度からの実施に向け、「夢・授業」講師であるオリンピック・パラリンピアン等の参画を得て検討を行う<市>	・平成29年度に向けた派遣講師、派遣先小学校の選定等の準備・調整を行った<府> ・「夢・授業」を活用したオリパラ教育の実施案を作成<市>	・事業スキームを検討し、平成29年度に向け派遣講師、派遣先小学校の選定等の準備・調整を図ることができた<府> ・「夢・授業」講師であるオリンピック・パラリンピアン等の参画を得て、オリパラ教育の内容を取り入れた「夢・授業」実施案の検討等を行い、平成29年度から実施予定である<市>	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考) 大阪府 予算事業名・予決額※	(参考) 大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
80	トップアスリート等との連携事業	大阪府、市町村	トップアスリートとの直接的な触れ合いを通じて、子どもたちの運動やスポーツに対する興味・関心を向上	学校の授業以外にスポーツをする児童が増える	協力チーム数：12チーム、派遣校数：150校、参加児童数：12,000名	協力チーム数：10チーム、実施校数：140校、参加児童数：11,494名	目標数値は達成できなかったものの（参加児童数で96%）、チームの協力により、前年度と比較して派遣小学校数で27校、参加児童数も2715人増加した。いずれの派遣先小学校でも高い評価を得ている。	-	-
81	スポーツボランティア養成及び派遣事業	大阪府	関係団体との連携により、スポーツボランティアを養成し、要請に応じて各種スポーツ大会に派遣する。	スポーツを「ささえる」機運が醸成される	大阪府登録スポーツボランティアの派遣（36事業、720名）	35事業に840名を派遣	研修養成事業では、実際にボランティアとして参加する競技（グラウンド・ゴルフ）の講習や体験を行い、当該大会の派遣時に効果的な活動ができるようになった。派遣者数は目標を大きく上回った。派遣要請した大会主催者の評価は高く、謝辞も寄せられている。	スポーツボランティア養成及び派遣事業（予算：703千円、決算：247千円）	-
82	府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル	大阪府	広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。	成人の運動実施率の向上、健康の保持増進	府民スポーツ・レクリエーションフェスティバルへの参加者（発表交流会、スポーツ体験会、体力測定会）：13,000名	府民スポーツ・レクリエーションフェスティバルへの参加者（発表交流会、スポーツ体験会、体力測定会）：12,500名	新規事業としてスポーツ体験会と体力測定会を追加実施したが、参加者数の目標を未達成（目標達成率96%）。今後、より集客力が見込める商業施設において開催するなど参加者数の拡大に努める。	府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル事業（予算：6,632千円、決算：6,632千円）	-
83	グローバル人材育成事業	大阪府	・おおさかグローバル塾や留学費用の一部助成により若者の海外留学を支援する。 ・グローバル体験プログラムを通じて海外に興味を持つ若者の裾野を広げる。	グローバルな視野をもった若者の育成	・おおさかグローバル塾修了者の海外留学実績：2016年度までの累計75人 ・グローバル体験プログラム参加者のうち、世界に関心を持った割合：80%以上	・おおさかグローバル塾修了者の海外留学実績：2016年度までの累計76人 ・グローバル体験プログラム参加者のうち、世界に関心を持った割合：96.7%	おおさかグローバル塾参加者のうち海外進学・留学を実現した生徒が目標値を超えるなど、着実にグローバル人材の育成の取組を進めた。	-	-
84	英語イノベーション事業	大阪市	大阪市立小中学校において、英語教育の強化を図ることにより、自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成する。	・英語でのコミュニケーション能力育成 ・グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合：35%以上（2014年度：24%、2015年度：29.9%）	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合：38.9%（2016年度）	・外部判定試験による英語力調査（2016年11月上旬実施）の結果、中学校卒業段階での英語力は目標値を上回った。しかし、ネイティブ・スピーカーを活用した授業は目標の年平均17時間以上に届かず、各校への指導とともに活用時間数の再検討やネイティブ・スピーカーの増員配置について検討する必要がある。	-	英語イノベーション事業（予算：579,610千円、決算：507,538千円（見込））
85	公設民営学校（国際バカロレア等）の設置	大阪市	国家戦略特区を活用した公設民営学校として、国際バカロレア認定コースを持つ中高一貫教育校を設置する。	国際社会でリーダーシップを発揮して活躍し、大阪の経済成長を牽引する人材の育成	受託法人の参入を可能とする、公設民営学校開設条件の設定	4法人から申請を受付	学校の管理運営を行う指定管理法人の公募について、より多くの法人からの申請を受け付けられるように、公募要件の設定や市長会見による情報発信に努めた結果、4つの法人からの申請を受け付けることができた。	-	公設民営学校（国際バカロレア等）の設置（予算：10,211千円、決算：1,517千円）
86	留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業	大阪府、民間事業者	留学生受入を実施・予定している大学や大学コンソーシアムと、公的賃貸住宅事業者の間で、公的賃貸住宅をまとめて、賃貸借契約し、大学側が留学生に住宅を提供。これにより住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供が可能となる。	・住環境整備により来訪留学生の利便性の向上	公的賃貸住宅事業者に対して住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供に向けた事業スキームの検討について指導。	公的賃貸住宅事業者に対して住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供に向けた事業スキームの検討について指導した。	公的賃貸住宅事業者に対して住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供に向けた事業スキームの検討について指導した。次年度以降、モデル地区における事業開始に向け取組を行う。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

							年度	2016	
※決算は見込額									
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
87	外国人留学生との連携拡大及び起業支援	大阪市	国際的な視点・能力をもつ留学生に、大阪市等が開発する協働プログラム（ボランティアプログラム）に参加してもらい、地域の国際化・活性化を図るとともに、留学生の地域への愛着を醸成する。 また、起業のきっかけとなるよう支援セミナーを開催し、国際人材の定着を促進する。	地域の国際化、国際人材の定着	・交流プログラム 開催数 3件 参加者総数 50名 参加者アンケート満足度 80% ・協働プログラム 開催数 22件 参加者アンケート満足度 80% ・起業支援セミナー 開催数 2件 参加者総数 70名 参加者アンケート満足度 80%	・交流プログラム 開催数 3件 参加者総数 70名 参加者アンケート満足度 97.1% ・協働プログラム 開催数 24件 参加者アンケート満足度 94.1% ・起業支援セミナー 開催数 2件 参加者総数 35名 参加者アンケート満足度 97%	各プログラム・セミナーの開催数・アンケート満足度については目標達成しているが、参加者数増加を図るため、周知の強化が必要。 起業支援セミナー受講後のフォローアップの体制づくりが必要。	-	外国人留学生との連携拡大及び起業支援（予算：4,680千円、決算：4,640千円）
88	企業における高度外国人材の積極的受入・活用や留学生の就職支援	大阪府、民間事業者	留学生が卒業後に大阪で就職し、高度外国人材として企業のグローバル化や競争力強化につながる活躍ができるよう、企業の積極的な受入促進や留学生の円滑な就職支援等を実施する。	外国人高度専門人材の受入れ拡大	外国人高度専門人材の受入れ拡大に向け、事業スキームの検討を行う。	外国人高度専門人材の受入れ拡大に向け、事業スキームの検討を行った。	外国人高度専門人材の受入れ拡大に向け、早期に事業化を行うべく企業等と調整を行う。	-	-
89	外国人相談事業の充実	大阪市、大阪府	外国人が安心して快適に生活をおくり、大阪を住みやすい都市として認識し、定着を促すため、在住外国人を対象とした専門分野の相談会を実施する。	外国人住民の定着	来場者アンケート（満足度）95%以上	来場者アンケート（満足度）：98.5%	アンケート満足度は目標値以上であったが、今後は社会背景（ニーズや言語の多様化）を踏まえたきめ細やかな相談体制の構築が必要。	外国人行政サービス体制推進委託料（予算：2,581千円、決算：2,581千円）	1日インフォメーションサービス（大阪国際交流センター事業交付金の一部）（予算：200千円、決算：200千円）
90	災害時多言語支援センター設置・運営訓練	大阪市、大阪府	災害時に多言語で外国人向けに情報発信を行う多言語支援センターの設置・運営に関する訓練を実施する。	外国人が安心安全に生活できる社会を実現し、都市魅力の向上を図る	災害ボランティア新規登録者数：30名 災害時多言語支援センターの設置に関する研修・訓練：2回実施	災害ボランティア新規登録者数：38名 災害時多言語支援センターの設置に関する研修・訓練：2回実施	今後確実に支援センターが機能するための防災組織計画の作成が必要	-	災害時外国人支援ネットワーク整備（大阪国際交流センター事業交付金の一部）（予算：947千円、決算：974千円）
91	府内大学連携型災害時多言語支援人材確保事業	大阪府	災害時に多言語支援に従事できる語学ボランティア人材を確保するため、府内大学との協定締結を進め、平時から協力が得られるボランティアの登録と研修を実施する。	府内大学と災害時多言語支援に関する協定を締結	府内大学と災害時多言語支援に関する協定の締結について検討を行う。	府内大学と災害時多言語支援に関する協定の締結について検討を行った。	本年度の検討を踏まえ、2017年度については府内大学と災害時多言語支援に関する協定の締結に向け、府内大学との協議を行っていく。	-	-
92	在住外国人に対する情報発信の充実	大阪市	関西総領事館に対し、防災関連施設の視察案内や取組紹介等による情報提供を行い、各総領事館を通じた在住外国人に対する防災情報の発信を推進する。	情報提供による総領事館等との連携強化	情報提供 1回	情報提供 1回	在住外国人住民や外国人旅行者への効果的な情報発信やそれらの接点となる総領事館等との連携強化を図った。	-	関西領事団との連携（予算：458千円、決算：224千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
93	多文化共生施策の推進	大阪市	多言語等による情報提供・流通経路を充実し、外国籍住民に行政情報等が伝わるようにする。 また、区役所やNPO等との連携を図り、地域住民と外国籍住民の交流の場づくり等を行い、地域住民の多文化共生に関する理解促進や外国籍住民の地域参加のきっかけをつくる。	「大阪市は外国籍住民が地域社会の一員として、様々な相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまち」と思う市民及び外国籍住民の割合が増えること。	・「大阪市の多言語資料一覧」や「やさしい日本語を使ったお知らせを集めたページ」の更新 ・多文化共生の場づくり・人づくり推進事業が取り組まれている区の拡大	・「大阪市の多言語資料一覧」や「やさしい日本語を使ったお知らせを集めたページ」を更新し、各所属の団体の情報発信の働きかけを行った。 ・新たに3区で、多文化共生の場づくり・人づくり推進事業の取組を進めるための研修を実施。(同事業が取り組まれている区は、前年14区から17区に拡大)	「大阪市の多言語資料一覧」や「やさしい日本語を使ったお知らせを集めたページ」での情報発信、多文化共生の場づくり・人づくり推進事業の実施区の拡大等により、外国籍住民への情報提供、地域住民の多文化共生に関する理解促進や外国籍住民の地域参加のきっかけづくりが進んだ。	-	多文化共生施策の推進 (予算：510千円、決算：298千円)
94	グローバルイノベーション創出支援事業	大阪市	うめきた先行開発区域の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」内に開設した「大阪イノベーションハブ」において、世界から人材・資金・情報を引き込み、人材発掘、起業家マインド醸成、国内外ネットワーク構築、プロジェクト創出支援、海外ワークショップ、国際会議等のイノベーション創出を支援する事業を実施する。	・拠点の趣旨に賛同し活動に参画又はSNS等でつながる人数：64,079人 ・グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出・推進支援件数：56件	ピッチイベント開催回数：35回	ピッチイベント開催回数：52回	年間257本のプログラムを実施し、大企業や国等との連携を通じてプロジェクトを生み出したほか、海外とのグローバル規模でのネットワークを構築することができた。今後、各種プログラムを通じて創出したプロジェクトをさらに成長・進化させるとともに、イノベーションに取り組む人材の裾野を拡大していくほか、ネットワークを構築した海外の諸地域等と具体的な連携を図る。	-	グローバルイノベーション創出支援事業 (予算：162,734千円、決算：161,373千円)
95	大阪トッパーナー育成事業	大阪市	医療・介護・健康分野等において、新たな需要の創出が期待できる製品・サービスのプロジェクトに対して市が認定を行い、市場投入から販路拡大まで担当コーディネーターが伴走し、必要に応じたオーダーメイド型の継続的サポート(ハンズオン支援)を実施する。	大阪トッパーナー企業の創出5件 (2014～2016年)、プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合：95%	プロジェクト新規認定件数：10件	プロジェクト新規認定件数：10件	大阪トッパーナー企業が新たに5件創出し、事業成果が表れてきている。次年度からは、金融機関などの中小企業支援機関との連携を拡大・強化するなどにより事業を改善実施することで、さらなる事業成果を生み出す。	-	大阪トッパーナー育成事業 (予算：83,949千円、決算：73,821千円)
96	水・環境分野における大阪関西企業の海外展開支援	大阪市	海外都市の多様な水・環境問題の解決に向けて、行政が持つ都市経営のノウハウ及び民間が持つ先進的な要素技術を活用しながら、大阪・関西企業の技術にかかる案件形成・事業化支援に向けた活動等により企業の海外展開を支援し、地域経済の活性化を図る。(大阪水・環境ソリューション〔OWESA〕による官民連携の取組)	官民連携による海外の水・環境問題への貢献と大阪・関西企業の海外展開を支援。	海外現地調査：3回、海外からの視察・見学受け入れ：1回 海外技術セミナー：3回	海外現地調査：6回、海外からの視察・見学受け入れ：2回 海外技術セミナー：4回	国・JICAなどの事業に参画し、官民連携による現地調査、本邦研修の実施など目標以上の取り組みにより、大阪・関西企業の海外展開を支援することができた。	-	水・環境ソリューション機構への分担金 (建設局 予算：3,500千円、決算：3,499千円) (水道局 予算：3,500千円、決算：3,499千円) (環境局 予算：3,500千円、決算：3,499千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2016
----	------

※決算は見込額

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額※	(参考)大阪市 予算事業名・予決額※
					目標	実績			
97	ビジネスパートナー都市交流事業	大阪市	大阪府がアジア太平洋地域の13の主要経済都市と締結しているビジネスパートナー都市(BPC)提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動の支援を行う。 また、年1回、BPC各都市が一堂に集まるラウンドテーブルを開催し、同期間に併せて現地での商談会を実施するとともに、海外見本市への出展支援、海外企業との国内商談会、セミナーを実施する。	海外見本市出展・商談会：4回、国内商談会・セミナー：3回(商談会)/2回(セミナー)	【海外見本市出展・商談会】支援対象企業数：12社以上、販売成約数：40件以上目標、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標 【国内商談会・セミナー】大阪での商談会：3回以上実施、大阪企業の参加数：各回10社以上、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標	【海外見本市出展・商談会】支援対象企業数：23社、販売成約数：54件、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：94%、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：94% 【国内商談会】大阪での商談会：3回/大阪でのセミナー：2回、大阪企業の参加数：41社、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：97.6%、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：95.2%	海外見本市出展・商談会の開催、国内商談会・セミナーの開催により、ビジネスパートナー都市(BPC)提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動を支援することができた。	-	ビジネスパートナー都市等交流事業(予算：64,495千円、決算：64,301千円)
98	外国企業誘致推進事業	大阪府、大阪市	大阪府・大阪府・大阪商工会議所で平成13年度に立ち上げた「大阪外国企業誘致センター(O-BIC)」事業により、オール大阪としての対外的なプロモーション活動や立地サポート及び外国経済団体等とのネットワークを活用するなど、大阪への外国企業等の誘致活動を行う。	大阪への外国企業等の誘致促進	誘致件数：27件	誘致件数 38件	大阪外国企業誘致センター(O-BIC)において、JETRO等主催の対日投資セミナーへの参加、メルボルンでのライフサイエンス分野の展示会への出展、北京でのセミナー主催といったプロモーション活動を展開、2016年度の外国企業等の誘致件数は過去2番目に高い38件となった。	大阪外国企業誘致センターの運営(予算：7,600千円、決算：7,600千円)	大阪外国企業誘致センターの運営(予算：7,600千円、決算：7,600千円)
99	トップセールスによる戦略的プロモーション	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局	海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、知事・市長等が、国内外に向け大阪の魅力や強みを効果的に発信し、経済・観光等の分野における交流促進を図る。	・大阪への投資促進 ・大阪と海外企業交流の促進 ・市内各地に観光客を誘致	・現地政府や大手企業等とのビジネス機会創出のための関係構築、商談機会提供。(府) ・各都市の特徴に合わせ、プロモーションや商談会、セミナー等最も効果的な経済交流のあり方をめざし、事業を展開し、姉妹都市と本市の交流促進に資するネットワークをさらに深化させる。(市)	・現地政府・大手企業等に大阪企業との商談促進の協力約束取り付け。商談機会提供数104件。(府) ・市長が8月米国、9月シンガポール共和国、ベトナム社会主義共和国、副市長が10月オーストラリアを訪問し、関係団体と連携して経済、イノベーション、水・環境、観光についてトッププロモーションを実施。(市)	海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、外国政府機関・企業等に効果的に大阪の魅力や強みを発信した。今後、プロモーション活動やビジネス交流等の各種交流をより効果的なものとするために、国内外の関係機関・関係部局等との連携を強化していく。	海外トッププロモーション事業(予算：5,899千円、決算：5,240千円)	姉妹都市ネットワークを活用した経済交流の推進(予算：16,883千円、決算：5,616千円)
100	JICA(国際協力事業団)との連携事業	大阪市	JICAと連携し、都市上下水道維持管理、都市廃棄物、大気汚染対策、救急救助等の分野で研修コースを設置し、開発途上国・地域から研修員を招聘するとともに、技術協力としてこれらの国・地域への職員派遣を実施する。 また、受入れた人材を本市の国際化に対するアドバイザー及び海外における情報発信・海外の最新情報の収集拠点として位置づけ、ネットワークを形成する。	JICAと連携した開発途上国・地域との人材交流促進	・開発途上国・地域からの研修員の招聘人数：65人 ・研究員の大阪国際交流協力員の参加率：80%	・開発途上国・地域からの研修員の招聘人数：79人 ・研究員の大阪国際交流協力員の参加率：93.7%	都市上下水道維持管理等の開発途上国・地域の課題に応じて、大阪市の最新事例等の研修を実施することにより、都市外交を推進することができた。 また、「大阪国際交流協力員」を活用することにより、海外における本市の情報発信等につなげることができた。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
1	夢洲でのI Rを含む国際観光拠点形成	大阪市、大阪府、民間事業者	MICE機能を備えた統合型リゾート(I R)の誘致など、民間の創意・工夫や意見を取り入れながら、国際観光拠点の形成をめざす。	夢洲でのI Rを含む国際観光拠点形成	I R推進会議を7回以上開催 大阪I R基本構想(案)を平成29年度中に策定	-	-	-	-	統合型リゾートの大阪立地推進事業 (予算: 47,706千円)	I Rを含む国際観光拠点の形成に向けた立地推進事業 (予算: 24,578千円)
2	水と光のまちづくりの推進 > 水辺の魅力空間づくり	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	・ 舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備 ・ 水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備	水都大阪の更なる「成長」へ向けた取組みを着実に推進	舟運利用者数: 90万人	-	-	-	-	水辺にぎわい空間づくり事業 (予算: 153,630千円)	水辺の魅力向上(東横堀川 本町橋周辺の拠点整備) (予算: 10,000千円)
3	水と光のまちづくりの推進 > 舟運活性化	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	舟運の共同運航体制の構築や係留環境の充実などによる旅行者ニーズに対応した観光メニューとしてのクルーズ商品の多様化促進	水都大阪の更なる「成長」へ向けた取組みを着実に推進	舟運利用者数: 90万人	-	-	-	-	水都大阪コンソーシアム事業 (予算: 35,500千円)	水と光のまちづくり推進事業 (予算: 35,500千円)
4	水と光のまちづくりの推進 > シンボルイベントの実施	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	オリバライヤーに水辺を舞台にしたシンボルイベントを開催し、水都大阪の魅力を国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	水都大阪の魅力を国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	舟運利用者数: 90万人	-	-	-	-	-	-
5	水と光のまちづくりの推進 > 水辺のランドマークの創出	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	水の回廊ならではのランドマークやコンテンツを創出し、回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	水の回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	舟運利用者数: 90万人	-	-	-	-	-	-
6	水と光のまちづくりの推進 > 淀川の魅力推進	大阪府、市町村、経済団体、民間事業者	淀川舟運の活性化に向けた沿川地域の魅力づくり	淀川沿川などにおいて、広域連携型のまちづくりの推進に向けた取組を進める。	淀川・沿川の広域連携型のまちづくりに向けた推進方策の取りまとめや仕組づくり	-	-	-	-	-	-
7	大阪光のまちづくり2020構想の推進	経済団体、民間事業者、大阪府、大阪市	「水と光のまちづくり推進会議」のもと、公民連携による圧倒的な光景観の形成により一層の魅力と賑わいに満ちた「水と光の首都大阪」の実現に取組む「光のまちづくり推進委員会」が策定した「大阪光のまちづくり2020構想」の情報共有を図り、大阪における光のまちづくりを推進	「水と光の首都・大阪」の実現	「大阪光のまちづくり2020構想」アクションプランの第3フェーズ(2017~2019年)の策定・推進	-	-	-	-	予算事業なし	予算事業なし
8	万博記念公園の魅力創出	大阪府	「太陽の塔」の耐震化、塔内のオブジェ「生命の樹」の再生及び地下展示室の増設(「地底の太陽」再生)等により、新たな魅力づくりを行う。	公園の魅力・観光価値を高め、来訪者が増加。	自然文化園入園者数: 300万人(2020年度)	-	-	-	-	太陽の塔耐震改修工事事業(予算: 1,314,378千円) 太陽の塔内部展示制作委託事業(予算: 220,320千円)	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
9	百舌鳥・古市古墳群の魅力創出	大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市	2010年に世界遺産暫定一覧表に記載された「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の早期実現に向けた取組みを進める。	2019年度の世界文化遺産登録	2017年度の国内推薦獲得に向け、地元や首都圏における機運の醸成を図り、世界文化遺産登録の早期実現に向けた取組みを進める。	-	-	-	-	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業 (予算：20,148千円)	-
10	ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信	大阪府、市町村、民間事業者	大阪の魅力スポットやそれらを巡るルートにストーリー性を持たせて再編集し、地域における観光資源の磨き上げや受入環境の整備等を支援する「大阪ストーリープロジェクト事業」を実施する。	国内外からの集客・周遊性の向上をめざした環境整備	構築するストーリー数：2017年度は、2本程度（最終は、10本程度）	-	-	-	-	大阪ストーリープロジェクト事業 (予算：45,432千円)	-
11	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 歴史拠点の創出	大阪市（経済戦略局、建設局）	・豊臣期に築かれた初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開する施設を整備 ・特別史跡大坂城跡保存管理計画を推進し、文化財を整備・活用 ・難波宮跡公園のハード・ソフト両面からの魅力向上 等	まちの魅力向上	【大阪城公園関連】豊臣石垣公開施設の整備に向けた実施設計業務 【難波宮跡公園関連】年度内に「史跡等保存活用計画」を作成する。	-	-	-	-	-	経済戦略局大阪城観光拠点化事業（予算：113,027千円） 建設局 難波宮跡公園整備事業（予算：269,000千円）
12	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 世界的観光拠点化	大阪市	・2014年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出	大阪城公園の魅力向上	各施設の利用者（件）数：天守閣237万人、野球場800件、西の丸庭園30万人、豊松庵70件、音楽堂100件 満足度調査：85%	-	-	-	-	-	大阪城エリア観光拠点化事業（予算：113千円）
13	中之島地区の魅力向上 > 新しい美術館の整備	大阪市	大阪市が所蔵する第一級のコレクションを活用して、市立美術館や東洋陶磁美術館とは異なる新たな魅力にあふれる「（仮称）大阪新美術館」を、2021（平成33）年度の開館をめざして整備する。 また、「（仮称）大阪新美術館」の整備に取り組むことにより、中之島地区の魅力向上に貢献していく。	中之島地区の魅力向上に貢献し、来訪者が増加	開館後の年間入場者数 約60万人 経済波及効果 180億円（施設整備時） 58億円/年（運営時）	-	-	-	-	-	新しい美術館の整備事業 (予算：211,999千円)
14	中之島地区の魅力向上 > 大阪市中央公会堂100周年を契機とした魅力発信	大阪市	2018年に開業100周年を迎える国指定文化財・大阪市中央公会堂の魅力を広く伝える行事を実施することで、引き続き大阪の誇る資産として魅力を発信していく。	中央公会堂開館100周年の機運醸成による中之島地区の魅力向上	連携事業数 5件 開館100周年記念イベント参加者数 500人	-	-	-	-	-	予算事業なし（既存事業の範囲内で実施）
15	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋の空間再編	大阪市、民間事業者	側道を利活用した御堂筋の歩行者空間化に向けた道路空間再編を行う。	御堂筋における歩行者の安全性向上	整備後の御堂筋を通行することに満足している歩行者の割合（歩行者の安全性向上）：2013年度 45%→2018年度 55%	-	-	-	-	-	御堂筋の活性化（予算：40,500千円）

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
16	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋活性化事業	大阪府、大阪市、国土交通省近畿地方整備局、経済団体、大阪観光局	大阪のシンボルストリートである御堂筋を歩行者に開放し非日常的なイベントを実施。御堂筋・大阪の魅力を国内外に発信する。	御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信する。	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 80 回以上 ・Web掲載回数 600 回以上	-	-	-	-	御堂筋開放事業（予算： 18,000 千円）	御堂筋活性化事業（予算： 18,000 千円）
17	御堂筋地区の魅力向上 > クオリティの高いにぎわい空間や官民協働によるブランドの創出	大阪市、民間事業者	御堂筋地区計画に沿って、きめ細かな建築デザイン、にぎわい用途等を誘導するとともに、御堂筋 80 周年を契機に、歩道の彫刻 (29 体)を生かした芸術性の高い通りの実現や、エリアマネジメント活動の促進、定着を図る。 また、市内の御堂筋・梅田・中之島地区を中心とするエリアマネジメント団体の交流や情報交換を目的とする会議を開催し、大阪都心部のエリアマネジメント活動の推進を図ることを目的としたガイドラインの策定に向けた検討を行う。	・上質にぎわい空間の創出と、芸術性の高い通りの実現 ・ガイドラインに基づく民間事業者等の取組の促進	・沿道美化活動の継続(年 1 回以上) ・プランター整備 38 基以上(エリアマネジメント団体による日常管理) ・大阪エリアマネジメント活性化会議の開催 (2 回)・御堂筋における官民連携したモデル事業の実施	-	-	-	-	建築美観誘導関係事務（予算： 1,411 千円） 御堂筋の景観整備（彫刻ストリート）（予算： 3,874 千円） 御堂筋の彫刻修景整備（彫刻脇のプランター整備）（予算： 9,850 千円） エリアマネジメント活動促進制度関係事務（予算： 4,103 千円）	
18	天王寺・安部の地区の魅力向上 > 天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進	大阪市	天王寺公園・動物園を核として、周辺観光施設等と連携しながら、地区全体の魅力発信・集客促進に取り組む	天王寺・阿倍野地区の魅力向上	ビックデータ（位置情報等の）活用にかかる情報収集 地区内施設のニーズ把握の手法の検討	-	-	-	-	-	-
19	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 > 天王寺公園・動物園の魅力向上	大阪市	天王寺・阿倍野地区において、地区の核となる天王寺公園・動物園の官民連携等による魅力向上・活性化、ひいては天王寺・阿倍野地区全体の集客力・ブランド力の向上を図る。	天王寺公園の魅力向上、来園者数が増加	・公園来園者数： 2012 年度 129 万人（実績）を 2017 年度に 260 万人にする ※てんしばオープン前の目標値につき 2017 年秋に見直し予定。 ・動物園来園者数： 2012 年度 124 万人（実績）を 2019 年度に 175 万人にする	-	-	-	-	-	【経済戦略局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（予算： 815 千円） 【建設局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（予算：公園 198,000 千円、動物園 177,432 千円、道路 13,700 千円）
20	大阪市立美術館の魅力向上	大阪市	・市立美術館は世界的レベルの所蔵作品を誇り、建物は登録有形文化財に指定された日本を代表する美術館で、天王寺・阿倍野地区の観光集客拠点である。 80 周年を迎え、その役割を十分に果たすために必要な機能強化やサービス向上にむけた大規模改修を実施するにあたり、基本計画の策定や最適な事業手法を検討する。また、大規模改修までに計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会を増加させるとともに、観光集客拠点としての、より一層の魅力向上を図る。	・大規模改修に関する基本計画の策定 ・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修）	・大規模改修に関する基本計画の策定 ・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修）	-	-	-	-	-	大阪市立美術館の魅力向上事業（予算： 38,600 千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
21	築港・ベイエリア地区の魅力向上 > クルーズ客船の母港化	大阪市、大阪観光局	・クルーズ客船の母港化により内外集客力を強化 ・新たなウオーターフロントのまちづくりに挑戦し、集客観光拠点化を図り、世界にアピール	クルーズ客船の母港化に向け、観光客増につながる大阪港への寄港回数の増加	2017年度寄港数：50隻	-	-	-	-	天保山客船ターミナル整備事業補助金交付事業 (予算：14,400千円、別途、債務負担行為993,026千円)	天保山客船ターミナル整備事業(予算：42,918千円、別途、債務負担行為3,708,000千円) クルーズ客船の誘致・受入事業(予算：14,635千円)
22	築港・ベイエリア地区の魅力向上 > 大阪港開港150年記念事業	大阪市	大阪港開港150年という記念すべき年を、多くの市民の皆様と共に祝いするとともに、大阪港の港勢伸長及びベイエリアの魅力向上・臨海地域の活性化の契機とする。	大阪港の港勢伸長及びベイエリアの魅力向上・臨海地域の活性化	・大阪港が身近な存在と感じる市民の割合(70%以上) ・港への集客力向上または臨海地域の活性化に寄与する新規事業の創出件数(5件以上) ・大阪港開港150年記念事業協賛金の獲得(2017年11月末までの目標額：10,000千円)	-	-	-	-	-	大阪港開港150年記念事業(予算：95,100千円) 大阪港開港150年を契機としたベイエリア魅力向上事業(予算：1,596千円)
23	大阪駅周辺地区の魅力向上	大阪市、大阪府、民間事業者	うめきた2期まちづくりの推進 ・世界の人々を惹きつける魅力を備えた「みどり」と、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点形成に向けた取組みの実施	うめきた地区の魅力向上、にぎわい創出 うめきた2期まちづくりの機運醸成	うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会の設立 うめきた2期区域暫定利用にかかる事業：18事業、参加者数：前年度以上 基盤整備事業の着実な推進	-	-	-	-	うめきたまちづくり推進事業(予算：5,000千円) ※参考 その他うめきた2期土地区画整理事業費(17,330千円)	うめきた2期「みどり」と「イノベーション」の融合拠点実現に向けた推進体制の構築(予算：5,000千円) ※参考 その他うめきた2期区域基盤整備事業費(10,879百万円 左記、大阪府事業費を含む全体事業費)
24	なんば駅周辺道路空間再整備	民間事業者、経済団体、大阪市、大阪観光局、大阪府	なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へと再編し、地元組織等のエリアマネジメント活動により、世界を惹きつける観光拠点として上質で居心地の良い空間の創出を図る。	大阪のおもてなし玄関口として、世界をひきつける観光拠点を整備し、居心地の良い空間を生み出すとともに回遊性を高める。	なんば駅周辺道路空間の再編に係る実施計画(整備内容、維持管理スキーム等)を作成する。	-	-	-	-	-	拠点地区開発計画策定調査(予算：13,000千円) ※他地区との合算
25	国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出	大阪府	国内外に発信できる集客装置である御堂筋を活用して、非日常的なオンラインコンテンツを通じて大阪の魅力を外へ発信し、多くの方に大阪に来ていただくための起爆剤となるイベントを開催。	御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信する。	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数80回以上 ・Web掲載回数 600回以上	-	-	-	-	国内外からの誘客促進事業(予算：60,000千円)	-

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
26	大阪・光の饗宴の魅力向上	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラムとし、地域の活性化に取り組む団体等が大阪府内各エリアで展開する光のプログラムをエリアプログラムとして、一体的にプロモーション展開することにより、大阪の冬を代表する観光コンテンツとして、官民の連携・協働により都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上や国内外からの多くの観光誘客を図り、大阪の活力向上につなげる。	御堂筋イルミネーションの中央エリアを圧倒的な光空間を創出する事業として新たに構築し、大阪・光の饗宴の魅力向上を図る	大阪・光の饗宴全体の来場者数：1,350万人以上 大阪・光の饗宴として連携実施する民間等の団体数：17団体	-	-	-	-	ナイトカルチャー魅力創出事業（大阪・光の饗宴事業） （予算：248,578千円）	大阪・光の饗宴事業（予算：180,000千円）
27	大阪マラソンの魅力向上	大阪府、大阪市、民間事業者	世界トップレベルの市民マラソンを目指すためのさらなる魅力づくりを目指すとともに、大会の国際化を推進	大阪マラソンの魅力向上を図り、海外ランナーのエントリー数を増加	海外ランナーエントリー数：前年度並み（9,000人）	-	-	-	-	大阪マラソン開催事業 （予算：90,000千円）	大阪マラソン開催事業 （予算：90,000千円）
28	スポーツツーリズムの推進	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	ランドマークなど大阪のブランド力を活用したスポーツイベントを誘致・開催する。 また、プロスポーツチームと連携した都市魅力の発信、観光振興につながる取組を推進	・観光集客を通じて地域を活性化 ＜府・市＞ ・スポーツを活かした都市魅力創出、誘客促進＜市＞	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数 300万人＜府・市＞ ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催：2件以上＜市＞	-	-	-	-	-	スポーツ競技大会の開催 （予算：35,700千円） 舞洲スポーツ振興事業 （予算：15,000千円）
29	大阪の食の魅力の創出・発信	大阪観光局、民間事業者、経済団体、大阪府	府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムを構築し、多言語メニュー設置店を増やすことで外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える。	・外国人旅行者の利便性向上	・府内の飲食店のシステム登録数：2,500件（府内の飲食店の5%以上）	-	-	-	-	食でおもてなし・多言語メニュー作成支援事業費 （予算：15,487千円）	-
30	民間との連携による食の魅力発信	大阪市、民間事業者	民間事業者等との連携により、大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツを開発する。	観光魅力の向上	・株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働事業の実施 ・食を活かした着地型観光コンテンツの実施	-	-	-	-	-	食を活用した観光魅力開発事業（予算：3,000千円）
31	天満・天神橋地域の魅力発信	大阪市	大阪天満宮・大阪くらしの今昔館・天満天神繁昌亭・天神橋筋商店街など、地域の都市魅力資源を活かし、天満・天神橋地域の魅力を広く発信する。	観光客の誘致強化	大阪くらしの今昔館入館者数：500千人	-	-	-	-	-	住まい情報センター事業のうち今昔館分経費 （予算：63,746千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
32	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業	大阪市	船場地区において、歴史的・文化的な建築資源周辺の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備を実施するとともに、回遊性向上の取り組み等を実施する。	観光魅力の向上	・芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺の2箇所の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備 ・残る候補地2箇所のうち1箇所の設計を実施 ・民間団体によるイベント等、周遊性を促す事業の実施を支援	-	-	-	-	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業 (予算：350,500千円) 【参考】経済戦略局(予算：0千円)、建設局(予算：350,500千円)	
33	恒常的なまちの魅力向上支援事業補助金	大阪府	大阪ミュージアムの取組の一環として、住民参加によるまちの魅力向上とホスピタリティの向上に資することを目的に、地域が主体となった恒常的なまちの魅力向上及び景観形成の取組みを支援する。	住民参加によるまちの魅力向上・景観形成	補助事業実施団体数：2団体以上	-	-	-	-	大阪ミュージアム推進事業(うち まちの魅力づくり支援) (予算：6,000千円)	-
34	Wi-Fi設置の拡充	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者、市町村	大阪観光局において、Osaka Free Wi-Fiの整備を促進する。 また、府においては、大阪観光局が設置を促進しているOsaka Free Wi-Fiについて、府内で外国人旅行者をはじめ、多数の旅行者を呼び込む意欲のある地域について、エリアを限定して集中的に整備を実施するため、補助金を交付する。	・まちの魅力向上 ・観光客の利便性・回遊性の向上	・拠点数等の目標について、大阪観光局において検討中 ・来阪外国人旅行者数 1,045万人 ・延べ宿泊者数：3,275万人	-	-	-	-	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業(予算：126,688千円)	大阪観光局事業(予算：320,000千円)の一部
35	公共交通機関等と連携した受入環境の整備	大阪府、民間事業者	乗継利便性の向上を図るため、乗継ぎ駅における案内モニターの設置や経路床面における表示等、旅行者の利便性向上に向けた環境整備を促進。	外国人利用者の利便性が向上し、来訪者が増加	目標補助実施箇所数 3駅	-	-	-	-	公共交通機関等と連携した受入環境整備事業(予算：24,000千円)	-
36	観光公衆トイレの整備促進	大阪府、民間事業者、市町村	市町村が実施する観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修に係る経費について補助金を交付する。	・まちの魅力向上	・来阪外国人旅行者数 1,045万人 ・延べ宿泊者数：3,275万人	-	-	-	-	市町村観光振興支援事業(予算：80,000千円)	-
37	宿泊施設における「おもてなし」環境の整備事業	大阪府、民間事業者	府内の宿泊施設を対象に、施設内の案内表示等の多言語化やトイレの洋式化など、宿泊客の利便性や満足度の向上に繋がる取組みに対し支援を行うとともに、特区民泊施設については、認定促進につなげるため、消防設備の整備等についても支援を行う。	・宿泊客の利便性や満足度の向上	・来阪外国人旅行者数 1,045万人 ・延べ宿泊者数：3,275万人	-	-	-	-	宿泊施設のおもてなし環境整備促進補助金(予算：50,000千円)	-
38	歩行者案内標識整備	大阪市	鉄道駅から主要集客施設までのルート上に歩行者案内標識を整備するとともに、集客施設内の案内看板など関係先と調整して案内施設を整備することで回遊性の向上を図る。	来街者の回遊性・利便性の向上	歩行者案内標識の整備に関する事業計画の策定	-	-	-	-	-	交通安全施設等整備(歩行者案内標識) (予算：8,000千円)

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
39	「トラベルサービスセンター大阪」の運営	大阪府、大阪観光局、民間事業者	来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応するなど、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」をJR大阪駅構内において運営。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リピーターの確保	・「トラベルサービスセンター大阪」の円滑な運営	-	-	-	トラベルサービスセンター大阪運営事業 (予算：36,027千円)	-	
40	観光案内所の運営	大阪府・大阪市・大阪観光局・民間事業者・市町村	大阪観光局において、観光案内所（大阪観光案内所・難波観光案内所）の運営を行うとともに、府域の観光案内所のネットワーク化に向けた検討を行う。	観光案内機能の充実	大阪観光案内所及び難波観光案内所の機能充実による来所件数の増加	-	-	-	大阪観光局運営事業 (予算：179,883千円、 決算：179,883千円) 大阪観光局運営事業 (大阪版DMO) (予算：140,235千円、 決算：140,235千円)	大阪観光局事業（予算：320,000千円）の一部	
41	観光客への情報提供機能の充実	大阪府	日本人旅行者を含む多くの来阪旅行者に、自国語若しくは使用言語による観光マップを見ていただくことで、大阪の「おもてなし」精神を伝えるとともに、大阪府内全域をスムーズかつ安心して移動してもらうため、多言語マップを作成・配布する。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リピーターの確保	・多言語マップの発行	-	-	-	多言語観光マップ作成事業（予算：41,523千円）	-	
42	観光案内板等の整備促進	大阪府、市町村、民間事業者	市町村が実施する多言語による観光案内板の設置・改修に係る経費について補助金を交付する。	・まちの魅力向上	・来阪外国人旅行者数 1,045万人 ・延べ宿泊者数：3,275万人	-	-	-	市町村観光振興支援事業（予算：80,000千円）	-	
43	観光案内板等の掲載情報の更新等	大阪市	外国人観光客にとって需要のある場所に設置した観光案内板を、より分かりやすく、利便性の高いものへと更新し、観光情報の提供や周辺案内の充実を図る。	観光客の回遊性・利便性の向上	観光案内表示板の地図等掲載情報を適宜更新	-	-	-	-	観光案内表示板の整備事業 (予算：3,044千円)	
44	観光ボランティアの育成	大阪府、民間事業者	市町村が実施する観光ボランティアの育成事業（研修等）に係る経費について補助金を交付する。	・まちの魅力向上	・来阪外国人旅行者数 1,045万人 ・延べ宿泊者数：3,275万人	-	-	-	市町村観光振興支援事業（予算：80,000千円）	-	
45	観光ボランティアガイドとの連携	大阪市	大阪観光局及び大阪観光ボランティアガイド協会との連携により、大阪城公園内での観光案内を行い、大阪のホスピタリティの醸成を図る。	ガイド利用の促進	大阪城内外ガイド利用人数 前年度比同数以上（2016年度：155,154人）	-	-	-	-	大阪城エリア観光拠点化事業 (大阪城公園内特設案内所における観光案内業務の分担金) (予算：2,200千円)	

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
46	多言語対応の強化	大阪府、民間事業者、大阪観光局	府内の宿泊施設等を対象に、施設内の案内表示等の多言語化などの取組みを支援するとともに、府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムを構築し、多言語メニュー設置店を増やすことで外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える。	・外国人旅行者の利便性や満足度の向上	・来阪外国人旅行者数 1,045 万人 ・延べ宿泊者数： 3,275 万人 ・府内の飲食店のシステム登録数： 2,500 件（府内の飲食店の5%以上）	-	-	-	-	宿泊施設のおもてなし環境整備促進補助金（予算： 50,000 千円） 観光施設等国際化支援事業費（予算： 70,000 千円） 食でおもてなし・多言語メニュー作成支援事業費（予算： 15,487 千円）	-
47	観光バス乗降場環境整備	大阪市	観光バスを利用して中央区ミナミエリアを訪れる国内外からの観光客が、ミナミエリアを円滑に周遊できるよう、日本橋観光バス乗降スペース付近に観光案内表示を設置し、案内を充実する。 また、観光客の滞留スペースや安全・安心を確保するため、日本橋において歩道拡幅を行う。	観光客の利便性・安全性の向上	日本橋乗降場付近に観光案内表示を設置（2017年度末）	-	-	-	-	-	外国人等観光客受入環境整備事業 ・経済戦略局：観光案内表示設置費（予算： 6,462 千円） ・建設局：日本橋歩道拡幅工事費（予算： 80,000 千円）
48	外国人旅行者の災害時における安全確保	大阪府・市町村・民間事業者	外国人旅行者が災害発生時に必要な情報を入手できる環境の整備及び行政、観光施設・宿泊施設等、関係者の役割分担によるサポート体制の構築	災害情報を入手しやすい仕組みづくりとともに、災害時の円滑な支援体制を構築し、外国人旅行者が安心して旅行できる環境づくりをめざす	「外国人旅行者安全確保マニュアル（仮称）」の作成	-	-	-	-	外国人旅行者安全確保事業（予算： 4,546 千円）	-
49	文化・観光、商業施設等の開館・営業時間の延長	大阪府・民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインバウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組む事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要な経費を補助する。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出する。	夜間公演等を実施する事業者に対する補助制度を創設	-	-	-	-	ナイトカルチャー発掘・創出事業（予算： 31,000 千円）	-
50	イベント・公演等の開演時間の繰り下げ	民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインバウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組む事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要な経費を補助する。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出する。	夜間公演等を実施する事業者に対する補助制度を創設	-	-	-	-	ナイトカルチャー発掘・創出事業（予算： 31,000 千円）	-
51	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	大阪府、民間事業者	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜間のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上のため、ランドマークのライトアップの現状把握に努め、民主導の取組みを推進する。	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜間のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	-	-	-	-	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
52	MICE誘致の推進	大阪府・大阪市・大阪観光局・経済団体・民間事業者	官民が一体となって、ターゲット等を明確にした方針に基づき戦略的にMICE誘致を展開するとともに、大阪におけるMICE受入体制の充実を図る。	誘客促進	国際会議開催件数等の目標について検討中	-	-	-	-	大阪観光局運営事業（予算：180,000千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,000千円）の一部	大阪観光局事業（予算：320,000千円）の一部
53	大阪観光局運営事業（大阪版DMO推進事業）	公益財団法人大阪観光局（大阪版DMO）	大阪観光局において、観光のプロ組織による観光振興事業を展開し、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、交流を通じたにぎわいづくりに取り組むとともに、大阪観光局を「大阪版DMO」とし、戦略的なマーケティング、情報ネットワークや観光案内機能のワンストップ化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組み、大阪への来訪者・宿泊者数を増加させ経済効果の向上を図る。	誘客促進	大阪版DMO戦略に沿ったDMO事業の試行実施	-	-	-	-	大阪観光局運営事業（予算：180,000千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,000千円）	大阪観光局事業（予算：320,000千円）
54	都市魅力をみんなで支えるネットワークづくり	大阪府、経済団体、民間事業者	文化及び都市魅力創造をみんなで支える仕組みとして、行政、経済界、在阪メディア及び文化・都市魅力創造関係団体が連携し、観光、文化、スポーツ、国際化など様々な都市魅力活動を支えるネットワークづくりの取り組みを行う。	都市魅力活動を支えるネットワークづくり	-	-	-	-	-	-	-
55	国内外への戦略的なプロモーションの展開	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、マーケティングに基づき、観光客や市場ごとのターゲットに応じた効果的なプロモーション活動を展開し、国内外からの誘客の促進を図る。	誘客促進	来阪外国人旅行者数等の目標について、大阪観光局において検討中	-	-	-	-	大阪観光局運営事業（予算：180,000千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,000千円）の一部	大阪観光局事業（予算：320,000千円）の一部
56	各種プロモーションツールを活用した大阪の情報発信の強化	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、インターネットやSNS、ガイドブックやマップなどの各種プロモーションツールを活用し、多言語による効果的な情報発信を展開する。	誘客促進	来阪外国人旅行者数等の目標について、大阪観光局において検討中	-	-	-	-	大阪観光局運営事業（予算：180,000千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,000千円）の一部	大阪観光局事業（予算：320,000千円）の一部

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考) 大阪府 予算事業名・予決額	(参考) 大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
57	大阪ミュージアムの推進	大阪府、市町村	大阪府全体を屋根のないミュージアムに見立て、魅力あるまちなみや自然、祭りやイベントなどを「展示品」や「館内催し」として登録し、その魅力を磨き・際立たせ、内外に発信し、府域への集客促進を図る。	①ホームページ等での情報発信、コンテンツの充実 ②府域での周遊・集客の促進 ③住民参加によるまちの魅力向上・景観形成 (No.33再掲)	①ホームページのアクセス件数：月2万件以上 ②参加者満足度：90%以上 (No.61再掲) ③補助事業実施団体数：2団体以上 (No.33再掲)	-	-	-	-	大阪ミュージアム推進事業 予算：36,956千円、決算：-千円 ※No.33とNo.61を含む。	-
58	大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）	大阪府、大阪市	<目的> 美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、府民、市民等から周辺景観の向上に質し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心としたまちなみを募集し、表彰することで地域資源を生かした大阪の魅力発信及び府民の景観に対する意識向上を図る。（設計者による自薦応募も可） <運営> 大阪府・大阪市・（公社）大阪府建築士会・（一社）大阪府建築士事務所協会・（公社）日本建築家協会近畿支部・（一社）日本建築協会の共催で行い、運営資金は建築関係団体及び屋外広告物業団体等による協賛による。	・景観に対する意識向上 ・美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりの推進による都市の魅力向上	景観に対する意識向上を図るため、府民や市民による推薦応募を促進し、賞の周知を図る。	-	-	-	-	-	-
59	フィルムカウンシル事業の充実	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	大阪観光局において、大阪への映画・ドラマ等のロケーションを誘致するとともに、ロケ地紹介やボランティアエキストラを募集する等、各種撮影支援を行う。	大阪の知名度向上	ロケ誘致・支援数等の目標について、大阪観光局において検討中	-	-	-	-	大阪観光局運営事業（予算：180,000千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,000千円）の一部	大阪観光局事業（予算：320,000千円）の一部
60	観光バス駐車場の確保・充実	大阪市	観光バスの利用が多いミナミエリアへアクセスしやすい場所に観光バス駐車場を設け、外国人観光客の急増に伴う受入環境の整備を図る。	外国人観光客の受入環境の整備	観光バス駐車場として確保した交通局所管の幸町用地において、民間事業者による観光バス駐車場運営を行い、10台分の駐車場を確保する。	-	-	-	-	-	外国人等観光客受入環境整備事業（予算：11,016千円）
61	魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業	大阪府	大阪ミュージアム登録物を活用して、地域魅力を府内外に発信するとともに、府域への集客・周遊を促す事業を展開する「地域魅力発事業」を実施する。	府域での集客・周遊の促進	参加者満足度（良かった、非常に良かった）：90%以上	-	-	-	-	大阪ミュージアム推進事業（うち 地域魅力の発信）（予算：7,141千円）	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
62	世界に発信する「大阪文化の祭典」	大阪府	人々を惹きつける質の高い、様々なコンテンツを、大阪はもちろんのこと府外から集め、府内全域で特定期間に集中して見せることで、大阪のエンターテインメント性を際立たせ、多くの観光客を呼び込むとともに、大阪の魅力を国内外に発信していくことにより、国際エンターテインメント都市にふさわしい、世界に誇る文化イベントを目指す。	大阪の魅力を発信、誘客促進	鑑賞者満足度：80%	-	-	-	-	大阪文化フェスティバル事業 (予算：160,405千円)	-
63	アートの魅力創出・発信	大阪府	公共の空間や施設内において、都市魅力を向上させ、観光集客につながるようなアート作品を設置することにより、大阪に新たな名所（アートのスポット）の創出を目指す。	大阪の魅力を発信、誘客促進	調査報告書を取りまとめ、2018年度からの事業実施を目指す	-	-	-	-	アートの魅力創出発信事業 (予算：5,000千円)	-
64	留学生への大阪文化の魅力発信	大阪府	留学生や海外からの旅行者に大阪文化の魅力伝えていくためのプログラムを企画し、提供する。	留学生や海外からの旅行者の大阪文化に対する理解の促進	既存の文化事業の中でプログラムを企画し、提供しながら、次のステップに向けて検討を行う	-	-	-	-	-	-
65	美術館・博物館の魅力向上《一部再掲》	大阪市	市立美術館、東洋陶磁美術館、歴史博物館、自然史博物館、科学館において、博物館の魅力向上に向けた展示環境の改善など、計画的な施設の改修整備の取り組みを進める。 市立美術館他4館において、『大阪市ミュージアムビジョン』に掲げる、①大阪の知を拓く、②大阪を元気にする、③学びと活動の拠点へを目標に、「都市のコアとしてのミュージアム」を実現することを通じて、都市魅力の向上と新たな文化・人材の創出に貢献する。(No.20「大阪市立美術館の魅力向上」を含む) あわせて、ビジョンの実現に最適な経営形態として地方独立行政法人設立(2019年4月予定)をめざし、その制度設計を行う。	・ミュージアムビジョンに定める戦略やアクションプランの実現による博物館魅力の向上。 ・2019年度からの、対象施設の地方独立行政法人による運営の確実な実現。	・所蔵作品の計画的な修復や展示環境の改善・魅力的な展示の実現を行う。 ・ビジョンの「戦略的な広報を展開する」ため、外部資金による外国人向け情報発信を強化。 ・アクションプランの地方独立行政法人中期計画への反映と、定款及び評価委員会条例の制定。	-	-	-	-	・博物館施設の地方独立行政法人化(予算：20,836千円) ・博物館施設指定管理代行料等(大阪城天守閣にかかる事務費等を除く) (予算：1,577,596千円) ・大阪市立美術館の魅力向上(予算：38,600千円)	
66	文化魅力の情報発信	大阪府	「大阪ならではの」リーディング事業の実施等を通じて、大阪文化の魅力を発信していく。	大阪の魅力を発信	大阪文化フェスティバルにおける鑑賞者満足度：80%	-	-	-	-	大阪文化フェスティバル事業 (予算：160,405千円)	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
67	大阪らしい芸術文化の魅力の創出	大阪市	国が主導する文化プログラムの動きを踏まえた取組みとして、大阪の文化資源である伝統芸能を観光資源として活用するためのコンテンツ創造、並びに地域の魅力を発信する事業を実施する。	大阪文化の活性化等をめざすとともに、大阪市内へのデジタル増による大阪の経済の成長を促す	モデル事業への来場者数 1,000人/年	-	-	-	-	-	伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業(予算：7,170千円)
68	アーツカウンシルの機能強化	大阪府、大阪市	大阪の文化力の向上につなげるため、アーツカウンシルの運営体制強化を図り、府市文化事業を評価・審査するとともに、企画や調査機能を高め、アーティスト等へのサポート、府内での文化プログラムの推進や効果検証等に取り組む。	大阪文化にふさわしい文化施策の推進	アーツカウンシルの機能強化に向けたあり方を取りまとめ	-	-	-	-	大阪アーツカウンシル運営等事業(予算：11,755千円)	大阪アーツカウンシル等による文化行政の推進(予算：7,063千円)
69	若手アーティストらの発表機会の提供	大阪府、民間事業者	芸術文化の担い手を発掘育成するため、若手プロデューサー等のネットワークの構築や、作品発表の機会の拡大を目指す。	芸術文化の担い手の育成・支援	芸術文化の担い手を支援するための取組みについて、引き続き検討を行う。	-	-	-	-	-	-
70	芸術文化を将来へ継承させる青少年の育成	大阪市	大阪市における各区の特性に応じた質の高い芸術文化メニューを青少年対象に実施することを通じて、中長期的に芸術文化にかかる青少年育成が定着することをめざす。	芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成	8区で文化事業を試行実施し、各区の事業で行うアンケートで、区の特性にあった文化事業であることを感じた/再認識した参加者の割合：85%以上	-	-	-	-	-	区と連携した芸術文化青少年育成事業(予算：1,200千円)
71	ラグビーワールドカップ2019の大阪開催	大阪府、市町村	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進組織を設置し、大会運営に係る関係機関との協議・調整や大会に向けた機運醸成を図るための取組みを展開	2019年9月のラグビーワールドカップに向けた開催機運の醸成を図る	トップリーグの試合会場等でのプロモーション活動：20回 ラグビーワールドカップの花園ラグビー場開催に対する府民認知度：60%以上	-	-	-	-	ラグビーワールドカップ2019開催準備事業(予算：450,656千円)	-
72	国際的なスポーツイベントなどの誘致	大阪府、大阪市、市町村、民間事業者	大阪のスポーツ都市としてのブランド力を高めるため、注目度の高い国際的なスポーツイベントや合宿を誘致	大阪のスポーツ都市としてのブランド力の向上<府・市>	・合宿誘致活動：20件<府> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催：2件以上<市>	-	-	-	-	オリ・パラ等事前キャンプ誘致事業(予算：734千円)	スポーツ競技大会の開催(予算：35,700千円)
73	オリ・パラ等事前キャンプ誘致の推進	大阪府、大阪市、市町村	市町村と連携した事前キャンプの誘致やホストタウン登録を推進するため、競技施設等の情報を掲載した広報媒体を作成するとともに、府内競技団体や総領事館等へプロモーションを実施する。	・事前キャンプ誘致の実現<府、市> ・ホストタウン登録の追加<府>	・合宿誘致活動：20件<府> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の事前キャンプ地として決定<市>	-	-	-	-	オリ・パラ等事前キャンプ誘致事業(予算：734千円)	-

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
74	ホストタウンへの登録	大阪市、市町村	大阪市内において、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する国・地域のホストタウンとして、国に登録し、相互交流を図る。	スポーツによる地域活性化	ホストタウン登録国とスポーツ分野のみならず、文化や国際交流を行い、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を開催後も継承し、交流事業の継続などレガシーを創出する	-	-	-	-	-	ホストタウン関係交流事業 (予算：1,000千円)
75	オリ・パラ開催に向けた事業の展開	大阪市	オリンピックを大阪から輩出するため、トップアスリートを育成する団体の支援や、障がいのある人もない人も誰もが楽しめる大規模なスポーツイベントの開催などによる機運の醸成を図る。	東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成	大阪から東京オリンピック代表選手を選出、機運醸成イベントの開催	-	-	-	-	-	競技力向上事業（予算：19,363千円）
76	関西ワールドマスタースゲームズ開催に向けた事業の展開	大阪市	大規模なスポーツ大会の開催時に合わせて、一般参加型のスポーツイベント開催による機運の醸成を図るとともに、ワールドマスタースゲームズ2021関西の閉会式開催に向けて取り組む。	ワールドマスタースゲームズ2021関西の開催に伴う機運醸成を図る	閉会式開催の準備に向けた実施体制の検討及び課題（会場選定・内容等）の整理・精査を、組織委員会と連携して行う	-	-	-	-	-	市長杯各種大会の開催 (予算：32千円) 関西ワールドマスタースゲームズ2021（予算：6.973千円）
77	プロスポーツとの連携事業	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	大阪を拠点に活動するプロスポーツチームと連携して、スポーツの振興や産業創出に向け取り組むとともに、都市魅力の発信、観光振興につなげる。	・プロスポーツ観戦を目的とした観光客の誘客促進<府・市> ・プロスポーツチームとの連携によるスポーツ振興及び都市魅力向上<市>	・大阪にゆかりのあるプロスポーツ7チームの年間主催試合での観客者合計数 300万人 ・舞洲プロジェクトの事業実施体制の確立<市>	-	-	-	-	-	舞洲スポーツ振興事業 (予算：15,000千円)
78	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業	大阪府	府民の様々なスポーツニーズに対応するため、スポーツイベント情報、スポーツ施設利用情報、スポーツ団体情報、ボランティア情報等、スポーツに関する様々な情報を提供	スポーツに親しむ府民が増える	アクセス件数：280,000件	-	-	-	-	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業 (予算：2,358千円)	-
79	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進	大阪府、大阪市、市町村	オリンピックやパラリンピアンなどのトップアスリートを学校に派遣し、オリ・パラ等の開催に向けた機運醸成やスポーツマンシップの普及	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進を通じた機運醸成<府・市>	・派遣小学校数：延べ18校<府> ・トップアスリート等による「夢授業」を219校（小中学校及び高等学校）で実施予定。 そのうち100校でオリパラ教育を実施できるよう取り組む。<市>	-	-	-	-	オリンピック・パラリンピアン小学校派遣事業（予算：920千円）	トップアスリート交流事業 (予算：6,743千円)
80	トップアスリート等との連携事業	大阪府、市町村	トップアスリートとの直接的な触れ合いを通じて、子どもたちの運動やスポーツに対する興味・関心を向上	学校の授業以外にスポーツをする児童が増える	協力チーム数：12チーム、派遣校数：150校、参加児童数：12,000名	-	-	-	-	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
81	スポーツボランティア養成及び派遣事業	大阪府	関係団体との連携により、スポーツボランティアを養成し、要請に応じて各種スポーツ大会に派遣する。	スポーツを「ささえる」機運が醸成される	大阪府登録スポーツボランティアの派遣 (35事業、840名)	-	-	-	-	スポーツボランティア養成及び派遣事業 (予算: 685千円)	-
82	府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル	大阪府	広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。	成人の運動実施率の向上、健康の保持増進	府民スポーツ・レクリエーションフェスティバルへの参加者 (発表交流会、スポーツ体験会、体力測定会) : 15,000名	-	-	-	-	府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル事業 (予算: 6,571千円)	-
83	グローバル人材育成事業	大阪府	・ おおさかグローバル塾Plusや留学費用の一部助成により若者の海外留学を支援する。 ・ グローバル体験プログラムを通じて海外に興味を持つ若者の裾野を広げる。 ・ 友好交流先であるインドネシア・東ジャワ州及びベトナム・ホーチミン市との間で高校生を相互派遣し、国際的な視野を持った国際人材を育成する。	グローバルな視野をもった若者の育成	・ おおさかグローバル塾修了者の海外留学実績 : 2017年度までの累計 100人 ・ グローバル体験プログラム参加者のうち、世界に関心を持った割合 : 90%以上 ・ 相互派遣された高校生のうち、派遣された国への再訪を希望する者の割合 : 70%以上	-	-	-	-	高校生相互派遣・交流事業 (予算: 9,026千円)	-
84	英語イノベーション事業	大阪市	大阪市立小中学校において、英語教育の強化を図ることにより、自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成する。	・英語でのコミュニケーション能力育成 ・グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合 : 40%以上	-	-	-	-	英語イノベーション事業 (予算: 563,744千円)	-
85	公設民営学校 (国際バカロレア等) の設置	大阪市	国家戦略特区を活用した公設民営学校として、国際バカロレア認定コースを持つ中高一貫教育校を設置する。	国際社会でリーダーシップを発揮して活躍し、大阪の経済成長を牽引する人材の育成	指定管理法人の選定・指定議決及び平成31年4月開校のための開校準備事務の実施	-	-	-	-	公設民営学校 (国際バカロレア等) の設置 (予算: 6,277千円)	-
86	留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業	大阪府、民間事業者	留学生受入を実施・予定している大学や大学コンソーシアムと、公的賃貸住宅事業者の間で、公的賃貸住宅をまとめて、賃貸借契約し、大学側が留学生に住宅を提供。これにより住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供が可能となる。	・住環境整備により来訪留学生の利便性の向上	・賃貸借契約等を締結する大学法人1法人 (契約戸数1戸以上)	-	-	-	-	-	-

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
87	外国人留学生との連携拡大及び起業支援	大阪市	国際的な視点・能力をもつ留学生に、大阪市等が開発する協働プログラム（ボランティアプログラム）に参加してもらい、地域の国際化・活性化を図るとともに、留学生の地域への愛着を醸成する。 また、起業のきっかけとなるよう支援セミナーを開催し、国際人材の定着を促進する。	地域の国際化、国際人材の定着	・交流プログラム 開催数 2件 参加者総数 50名 参加者アンケート満足度 80% ・協働プログラム 開催数 22件 参加者アンケート満足度 80% ・起業支援セミナー 開催数 2件 参加者総数 70名 参加者アンケート満足度 80%	-	-	-	-	-	外国人留学生との連携拡大及び起業支援（予算：4,485千円）
88	企業における高度外国人材の積極的受入・活用や留学生の就職支援	大阪府、民間事業者	留学生が卒業後に大阪で就職し、高度外国人材として企業のグローバル化や競争力強化につながる活躍ができるよう、企業の積極的な受入促進や留学生の円滑な就職支援等を実施する。	外国人高度専門人材の受入れ拡大	留学生向け企業見学会、企業との交流会等の実施回数：4回以上	-	-	-	-	-	-
89	外国人相談事業の充実	大阪市、大阪府	外国人が安心して快適に生活をおくり、大阪を住みやすい都市として認識し、定着を促すため、在住外国人を対象とした専門分野の相談会を実施する。	外国人住民の定着	来場者アンケート（満足度）：95%以上 来場者数：104名以上	-	-	-	-	外国人行政サービス体制推進委託料（予算：2,581千円）	1日インフォメーションサービス（大阪国際交流センター事業交付金の一部）（予算：200千円）
90	災害時多言語支援センター設置・運営訓練	大阪市、大阪府	災害時に多言語で外国人向けに情報発信を行う多言語支援センターの設置・運営に関する訓練を実施する。	外国人が安心安全に生活できる社会を実現し、都市魅力の向上を図る	災害ボランティア新規登録者数：30名 防災組織計画の策定 防災訓練・研修会の実施件数2回以上 市関係局会議の開催回数3回以上	-	-	-	-	-	災害時外国人支援ネットワーク整備（大阪国際交流センター事業交付金の一部）（予算：947千円、決算：〇千円）
91	府内大学連携型災害時多言語支援人材確保事業	大阪府	災害時に多言語支援に従事できる語学ボランティア人材を確保するため、府内大学との協定締結を進め、平時から協力が得られるボランティアの登録と研修を実施する。	府内大学と災害時多言語支援に関する協定を締結	災害時多言語支援に関する協定を締結した大学数：1大学	-	-	-	-	-	-
92	在住外国人に対する情報発信の充実	大阪市	在関西総領事館に対し、防災関連施設の視察案内や取組紹介等による情報提供を行い、各総領事館を通じた在住外国人に対する防災情報の発信を推進する。	情報提供による総領事館等との連携強化	情報提供 1回	-	-	-	-	-	関西領事団との連携（予算：458千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
93	多文化共生施策の推進	大阪市	多言語等による情報提供・流通経路を充実し、外国籍住民に行政情報等が伝わるようにする。 また、区役所やNPO等との連携を図り、地域住民と外国籍住民の交流の場づくり等を行い、地域住民の多文化共生に関する理解促進や外国籍住民の地域参加のきっかけをつくる。	「大阪市は外国籍住民が地域社会の一員として、様々な相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまち」と思う市民及び外国籍住民の割合が増えること。	・「大阪市の多言語資料一覧」「やさしい日本語を使ったお知らせを集めたページ」等による情報発信。 ・多文化共生の場づくり・人づくり推進事業が取り組まれている区の拡大	-	-	-	-	-	多文化共生施策の推進 (予算：481千円)
94	グローバルイノベーション創出支援事業	大阪市	うめきた先行開発区域の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」内に開設した「大阪イノベーションハブ」において、世界から人材・資金・情報を引き込み、人材発掘、起業家マインド醸成、国内外ネットワーク構築、プロジェクト創出支援、海外ワークショップ、国際会議等のイノベーション創出を支援する事業を実施する。	・拠点の趣旨に賛同し活動に参画又はSNS等でつながる人数：50,000人 ・グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出・推進支援件数：50件	ピッチイベント開催回数：40回	-	-	-	-	-	グローバルイノベーション創出支援事業(予算：203,025千円)
95	大阪トップランナー育成事業	大阪市	医療・介護・健康分野等において、新たな需要の創出が期待できる製品・サービスのプロジェクトに対して市が認定を行い、市場投入から販路拡大まで担当コーディネータが伴走し、必要に応じたオーダーメイド型の継続的サポート(ハンズオン支援)を実施する。	認定プロジェクトにおける新たな売上の創出19億円(2017～2019年度)、プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合：95%	プロジェクト新規認定件数：10件	-	-	-	-	-	大阪トップランナー育成事業(予算：70,984千円)
96	水・環境分野における大阪関西企業の海外展開支援	大阪市	海外都市の多様な水・環境問題の解決に向けて、行政が持つ都市経営のノウハウ及び民間が持つ先進的な要素技術を活用しながら、大阪・関西企業の技術にかかる案件形成・事業化支援に向けた活動等により企業の海外展開を支援し、地域経済の活性化を図る。(大阪水・環境ソリューション(OWESA)による官民連携の取組)	官民連携による海外の水・環境問題への貢献と大阪・関西企業の海外展開を支援。	海外現地調査：3回、海外からの視察・見学受け入れ：1回 海外技術セミナー：3回	-	-	-	-	-	水・環境ソリューション機構への分担金 (建設局 予算：3,500千円) (水道局 予算：3,500千円) (環境局 予算：3,500千円)

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
97	ビジネスパートナー都市交流事業	大阪市	<p>大阪市がアジア太平洋地域の13の主要経済都市と締結しているビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動の支援を行う。</p> <p>また、年1回、BPC各都市が一堂に集まるラウンドテーブルを開催し、同期間に併せて現地での商談会を実施するとともに、海外見本市への出展支援、海外企業との国内商談会、セミナーを実施する。</p>	海外見本市出展・商談会：4回、国内商談会・セミナー：3回（商談会）/2回（セミナー）	<p>【海外見本市出展・商談会】支援対象企業数：12社以上、販売成約数：40件以上目標、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標</p> <p>【国内商談会・セミナー】大阪での商談会：3回以上実施、大阪企業の参加数：各回10社以上、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標</p>	-	-	-	-	ビジネスパートナー都市等交流事業（予算：59,112千円）	
98	外国企業誘致推進事業	大阪府、大阪市	<p>大阪市・大阪府・大阪商工会議所で平成13年度に立ち上げた「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」事業により、オール大阪としての対外的なプロモーション活動や立地サポート及び外国経済団体等とのネットワークを活用するなど、大阪への外国企業等の誘致活動を行う。</p>	大阪への外国企業等の誘致促進	誘致件数：27件	-	-	-	-	大阪外国企業誘致センターの運営（予算：7,600千円）	大阪外国企業誘致センターの運営（予算：7,600千円）
99	トップセールスによる戦略的プロモーション	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局	<p>海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、知事・市長等が、国内外に向け大阪の魅力や強みを効果的に発信し、経済・観光等の分野における交流促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪への投資促進 ・大阪と海外企業交流の促進 ・市内各地に観光客を誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地政府や大手企業等とのビジネス機会創出のための関係構築、商談機会提供。（府） ・各都市の特徴に合わせ、プロモーションや商談会、セミナー等最も効果的な経済交流のあり方をめざし事業を展開し、姉妹都市と本市の交流促進に資するネットワークをさらに深化させる。（市） 	-	-	-	-	海外トッププロモーション事業（予算：5,899千円）	姉妹都市ネットワークを活用した経済交流の推進（予算：18,159千円）
100	JICA（国際協力事業団）との連携事業	大阪市	<p>JICAと連携し、都市上下水道維持管理、都市廃棄物、大気汚染対策、救急救助等の分野で研修コースを設置し、開発途上国・地域から研修員を招聘するとともに、技術協力としてこれらの国・地域への職員派遣を実施する。</p> <p>また、受入れた人材を本市の国際化に対するアドバイザー及び海外における情報発信・海外の最新情報の収集拠点として位置づけ、ネットワークを形成する。</p>	JICAと連携した開発途上国・地域との人材交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・発展途上国・地域からの研修員の招聘人数：65人 ・研究員の大阪国際交流協力員の参加率：80% 	-	-	-	-	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2017
----	------

整理 番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト 概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	(参考)大阪府 予算事業名・予決額	(参考)大阪市 予算事業名・予決額
					目標	実績		次年度方針案			
新規	御堂筋完成80周年記念事業	大阪市、民間事業者	御堂筋が完成して80周年を迎える年を契機として、人中心のみちへと空間再編をめざす今後の御堂筋のあり方や、民間と連携したまちづくりのあり方を議論し、官民連携による新しい御堂筋づくりをスタートさせることを目的に記念事業を実施する。	官民の緊密な連携関係の構築、エリアマネジメントの活性化やまちづくりの推進	シンポジウム、ワークショップ等の各種記念事業の実施	-	-	-	-	-	御堂筋完成80周年記念事業（予算：49,850千円）
新規	大阪市版TID（Tourism Improvement District）モデル創出事業	大阪市	地域が自らの資金を原資として観光地域まちづくりに取り組む仕組みである「大阪市版TID（Tourism Improvement District）」の構築に向け、モデル創出に向けた事前調査を実施することにより、翌年度以降のモデル事業実施につなげ、将来的に、地域内の滞在者数・宿泊者数の増加及びそれに伴う地域内経済の活性化をめざす。	地域内の滞在者数・宿泊者数の増加及びそれに伴う地域内経済の活性化	事前調査の実施	-	-	-	-	-	大阪市版TID（Tourism Improvement District）モデル創出事業（予算：8,000千円）